

鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち空調工事

香山・タニ設計業務共同企業体

図面目録 (空調)			図面目録 (空調)			図面目録 (空調)		
図番	名称	縮尺	図番	名称	縮尺	図番	名称	縮尺
M-01	図面目録		M-21	地階・1階制御設備図(改修後)	1:150			
M-02	特記仕様書1		M-22	2階制御設備図(改修後)	1:150			
M-03	特記仕様書2		M-23	3階制御設備図(改修後)	1:150			
M-04	特記仕様書3		M-24	R階制御設備図(改修後)	1:150			
M-05	特記仕様書4		M-25	換気機器表(改修後・改修前)				
M-06	特記仕様書5		M-26	地階・1階換気設備図(改修後)	1:150			
M-07	特記仕様書6		M-27	2階換気設備図(改修後)	1:150			
M-08	配置図	1:300	M-28	3階換気設備図(改修後)	1:150			
M-09	空調設備機器表(改修後) - 1		M-29	R階換気設備図(改修後)	1:150			
M-10	空調設備機器表(改修後) - 2		M-30	地階・1階換気設備図(改修前)	1:150			
M-11	空調設備立管系統図、天井開口補強要領	1:100	M-31	2階換気設備図(改修前)	1:150			
M-12	地階・1階空調設備図(改修後)	1:150	M-32	3階換気設備図(改修前)	1:150			
M-13	2階空調設備図(改修後)	1:150	M-33	R階換気設備図(改修前)	1:150			
M-14	3階空調設備図(改修後)	1:150	M-34	建具改修、換気口取付要領、天井点検口設置要領	1:100			
M-15	R階空調設備図(改修後)	1:150						
M-16	空調設備機器表(改修前)							
M-17	地階・1階空調設備図(改修前)	1:150						
M-18	2階空調設備図(改修前)	1:150						
M-19	3階空調設備図(改修前)	1:150						
M-20	R階空調設備図(改修前)	1:150						

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称

鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち空調工事

2. 工事場所

鳴門市撫養町南浜

3. 建物概要

建物名称	健康福祉交流センター
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地下1階+地上3階+PH階
敷地面積	6249.16 m ²
延床面積	改修前延床面積:3,372 m ² 改修後延床面積:3,344 m ²
消防法施行例別表第1の区分	6項ハ

4. 工事種目

種目	工事概要
空調一式工事	1F:空調機、換気扇の撤去、改修、配管、ダクト、配線の改修 <p>2F:空調機、換気扇の撤去、改修、配管、ダクト、配線の改修</p> <p>3F:空調機、換気扇の撤去、改修、配管、ダクト、配線の改修</p>

II. 共通仕様書

1. 適用基準

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「標仕」という。)
- 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和7年版(以下「改標仕」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版
- 木造建築工事標準仕様書 令和7年版
- 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説 令和5年版
- 建築工事標準詳細図 令和4年版(以下「標準図」という。)
- 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和7年版
- 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 令和7年版
- 敷地調査共通仕様書 令和4年版

また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。

- 建築工事監理指針 令和4年版(以下「監理指針」という。)
- 建築改修工事監理指針 令和4年版
- 電気設備工事監理指針 令和4年版
- 機械設備工事監理指針 令和4年版

2. 優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

- 質問回答書(㉔から㉖に対するもの)
- 補足説明書
- 特記仕様書(共通仕様書を含む)
- 図面
- 公共建築工事標準仕様書等

3. 工事実績データの登録

- 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。

受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。

- 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。
- 訂正時は、直直とする。

なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。

- 受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

4. 工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

5. 工事の着手

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により受注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合あっては、その日)をいう。

6. 施工計画書等

- 施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をよめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承認を受けること。
- 上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。
- 施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承認を受けること。

7. 下請負人の選定

- 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、鳴門市内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。
- 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。
- 受注者は、下請契約を締結するときは、下請員に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

8. 施工体制台帳及び施工体系図

- 施工体制台帳の作成

受注者は、下請契約(以下の3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書(以下「施工体制台帳」という。)を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。

② 施工体系図の作成及び揭示

受注者は、下請契約(以下の3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、各下請負者の施 工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

③ 警備業者の記載

受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

④ 運搬業者の記載

受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

⑤ 施工体制台帳及び施工体系図の提出

受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。

⑥ 再下請負通知書を提出する旨の書面の揭示

受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に揭示しなければならない。

9. 電気保安技術者等

- 電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。
 - 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。
 - 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工士の資格を有する者とする。
- 工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

10. 施工中の安全確保

- 工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。
- 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと
- 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(令和元年9月2日付け国土交通省告示第486号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正)その他関係法令に従い適切に処理すること。
- 受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。
- 地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。
- 受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。
- 受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
- 受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
- 受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、タンクトラックの架台の下ろし等について、走行前に検査の作業員により確認しなければならない。
- 受注者は、トラック(クレーン装置付)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
- 休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。
- 受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは運給を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。
- 受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- 仮囲いを設置する場合は、設置後に「現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。
- 上下作業や直下階の施設を利用しからの直上階(天井)のスペースはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
- 受注者は、足場を設置する場合は組立・解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上下に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
- 作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。
- 既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。
- 事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。
- 給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。

- 受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。

11. 撤去時の資機材残置の防止

足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

12. 交通安全管理

① 輸送災害の防止

受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。

	設計	香山・タニ設計業務共同企業体	級建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち空調工事	
			一般建築士 第789714号 長谷川祥久	date:2025.07	特記仕様書1
					scale: A2 NON A3:71% 縮小
					M-02

5. 養生等

- ① 本工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。
- ② 工事により影響の及ぼす範囲内にある重要物品は次のとおりである。受注者は、注意事項に従い適切な措置を施すこと。

備品等名称	
注意事項	

6. 機材の品質等

- ① 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、同等のものを使用する場合は、あらかじめ監督員の承認を受ける。
- ② 下表に示す材料・機材等の製造業者等は次の①から⑤の事項を満たすものとし、証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたものを示す書面を提出して監督員の承認を受ける。
 - 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
 - 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
 - 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
 - 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
 - 販売、保守等の営業体制を整えていること。

品名	機材名・注記
ボイラー	鋼製簡易ボイラー(簡易貫流ボイラー含む)、鑄鉄製ボイラー(鑄鉄製簡易ボイラー含む) 鋼製小型ボイラー(小型貫流ボイラー含む)、鋼製ボイラー
温水発生機	真空式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)、無圧式温水発生機(鋼製・鑄鉄製)
冷凍機	テリングユニット(空気熱源ヒートポンプユニット含む)、吸収冷凍機、吸収冷凍水ユニット、遠心冷凍機
冷却塔	冷却塔
空気調和機	ユニット形空気調和機、ファンコイルユニット(カセット形含む) コンパクト形空気調和機、パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機カスエンジンヒートポンプ式空気調和機
空気清浄装置	エアフィルター(パネル形、折込み形、袋形)、自動巻取りエアフィルター、電気集塵器
全熱交換器	全熱交換器(回転形・静止形)、全熱交換ユニット
送風機類	遠心送風機(多翼形送風機)、斜流送風機、軸流送風機、消音ボックス付送風機
ポンプ類	横形遠心ポンプ、水中モーターポンプ、立形遠心ポンプ
ダクト付属品	吹出口・吸込口、風量ユニット(定風量・変風量)
自動制御	自動制御システム
衛生器具ユニット	衛生器具ユニット
タンク	FRP製パネルタンク、ステンレス鋼板製パネルタンク(海接組立形、ボルト組立形)、密閉形隔膜式膨脹タンク(給湯用) 密閉形隔膜式膨脹タンク(給湯用)
消火装置	スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム、ハロゲン化物消火システム
厨房機器	厨房システム
鑄鉄製ふた	マンホールふた、弁類ふた

- ③ 機器類は、図示する形状又は配管などの取出し位置等により、特定製造者の特定の製品を指定若しくは限定しない。
- ④ 機材の検査に伴う試験については、標丈 $<1/1.45$ により行う。また、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。

7. 施工調査

- ① 工事の着手に先立ち、実施工程表及び施工計画書等作成のための必要な調査・打合せを行うこと。
- ② 工事の施工に先立ち、工事関連部分の事前調査(支障物件の調査・確認を含む)及び工事関係者(施設管理者・電気主任技術者・関係官公庁等)との事前打合せを実施し、その結果を監督員に報告する。

8. 総合試運転調整

- ① 総合試運転調整の項目は次によるものとし、試運転調整完了後に記録表・測定表等の報告書を監督員に提出すること。
(監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.1、2.2、2.3を参考にする。)
- 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定
- ・ 飲料水の水质の測定 ・ 雑用水の水质の測定 ○ 低圧屋内配線、弱電流電線の絶縁抵抗測定

2章 共通工事

1. 耐震施工 (参考図書:建築設備耐震設計-施工指針(2014年版))

- ① 設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。なお、施工に先立ち、耐震計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。
 - ・ 設計用水平地震力
機器の重量(kN)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、設計用標準水平震度は、特記なき場合は下表による。
 - ・ 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
 - ・ 施設の種類、地域係数
施設の種類(特定の施設 ・ 一般の施設) 地域係数(1.0 ・ 0.9)
 - ・ 重要機器
 - ・ 給水機器() ・ 排水機器() ○ 換気機器 ○ 空調機器 ・ 熱源機器
 - ・ 防災機器 ・ 監視制御装置 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
 - ・ 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中層階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

- (注) ・ 上層階の定義は次のとおりとする。
2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
- ・ 水槽類にはオイルタンク等を含む。

- ② 質量100kg以下の軽量な機器(標丈の適用を受けるものは除く)の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。
- ③ 横引き配管等の耐震支持は、施設の種類に応じたものとする。

2. あと施工アンカー

あと施工アンカーボルトの選定については、次による。

- ① 機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、重要機器及び次の機器については、施工後確認試験を行う。
()
 - ・ 試験方法 引張試験機による引張試験とし、確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。
 - ・ 試験箇所数 対象機器、径毎に対し1本とし、無作為に抜き取る。
- ② 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
- ③ 屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。
(ただし、コンクリート内に施工するあと施工アンカーは除く)

3. 非破壊検査

- ① はつり、穴明け及びあと施工アンカー等の施工に当たり、埋設物の事前調査を行い、監督員に報告すること。
- ② 施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。なお、探査の結果、放射線透過検査を必要とする場合については、監督員と協議の上、適切に対応するものとする。

4. 各種荷重計算

- ・ 屋上、塔屋等に設置する機器

5. 強度計算

- ・ 配管及びダクト支持材 ・ 煙道支持材

6. 配管工事

- ① 配管材料については、次表による。

用途	名 称	番 号	備 考	
冷水・温水・ 冷温水	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)	
	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459	SUS304	
	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS304	
冷却水	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 116	SGP-VA(管端防食継手)	
膨張・空気抜・ 補給水	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)	
	蒸気(往)	配管用炭素鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP
	蒸気(還)	圧力配管用炭素鋼管(黒管 Sch 40)	JIS G 3454	STPG370
油・油用通気	配管用炭素鋼管(黒)	JIS G 3452	SGP	
冷 媒	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	JQDA 0009	ポリエチレン保温材(難燃性)	
空調用排水 (屋内)	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741 又は6742	VP(30φ以下はJIS K 6742 を使用してもよい)	
	○ 結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管			
	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP	
給 水 (地中埋設)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 116	SGP-VA(管端防食継手)	
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 116	SGP-VD(管端防食継手)	
	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459		
	水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762	①W又は②W	
	水道配水用ポリエチレン管	JNWA K 144	HF継手	
	給水用高密度ポリエチレン管	PWA 005 JP K 002		
排水・通気	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	DVLP	
	○ 排水・通気用耐火二層管			
排水 (地中埋設)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
	下水適用リサイクル三層硬質塩化ビニル管	JIS K 9797	RS-VU	
給 湯	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JNWA K 140	SGP-HVA(管端防食継手)	
	配管用ステンレス鋼管	JIS G 3459		
	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS304	
	○ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管	JIS K 6778	HIVP	
	○ 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管	JIS K 6776	HIVP	
消 火 (地中埋設)	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	WSP 041	SGP-VS	
ガ ス (地中埋設) (地中埋設)	配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP	
	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(黒)			
	ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774	SGP	

(注) 表中○印のある配管材料を本工事に適用する。

- ② ステンレス鋼管の接合方法は、呼び径60Su以下の継手はSAS322による拡管式とする。
- ③ 冷媒管に使用する断熱材被覆鋼管の断熱厚さは、液管は10mm以上、ガス管を20mm以上とする。

④ 建築物導入部の変位吸収方法は、次による。

- 給水配管、ガス配管
 - 標準図〔施工4、施工5:建築物導入部の変位吸収配管要領 (a) ・ (b) ・ (c) 〕による。
 - ※屋外埋設用配管にポリチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口樹(標準図〔機材6〕のTC-1)を設け、変位吸収余長をとる。
- 油配管
 - 標準図〔施工4、施工5:建築物導入部の変位吸収配管要領 (a) ・ (b) ・ (c) 〕による。

⑤ 配管海接部の非破壊検査は次による。

- 要 (放射線透過検査 ・ 浸透探査検査または磁粉探傷検査) ・ 不要
- ※検査差の場合の採取率は(標準仕様書による ・ %)とする。
- ⑥ 図面に記載なき防振継手は、(合成ゴム製 ・ パロース形)とする。
- ⑦ 図面に記載なき伸縮管継手は、(パロース形 ・ スリーブ形)とする。
- ⑧ 弁類で、ステンレス鋼管に取り付けるものは、呼径50以下は青銅製、呼径65以上はステンレス製とする。
- ⑨ 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。(標仕<2>2.6.1、<2>2.6.3)
- ⑩ 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。
- ⑪ 地中配管は次による。(標仕<2>2.7.1、監理指針<2>2.7.1、標準図〔機材2〕)

- 排水管
 - 標仕の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを遠り方にならい敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。
- 排水管以外
 - 管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、埋設表示(表示テープ及び埋設標)を行う。
- ⑫ 水圧試験、漏水試験、気密試験等は配管途中若しくは隅べい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。(標仕<2>2.9.1)

7. 保温・塗装工事

① 保温工事

- 空調対象室部分(天井内を含む)に設置する全熱交換器の外気取入用ダクト及び排気用ダクトの保温は25mm厚とする。
- 厨房用排気ダクトの断熱(隅べい部) ・ I-(イ)・IX(又はH-(イ)・IX) ・ 行わない
- 冷媒管の保温外装は次による。
 - 屋内露出
 - 合成樹脂製カバー(AI-(ロ)・I) ・ 保温化粧ケース(耐候性樹脂製 ・)
 - 屋外露出
 - ステンレス鋼板(E2-(ロ)・I) ・ 高耐食性溶融亜鉛アルミニウム亜鉛鉄板(JIS G 3321)(E3-(ロ)・I)
 - 保温化粧ケース(ステンレス鋼板製 ・ 高耐食めっき鋼板製(JIS G 3323) ・ 耐候性樹脂製)
- 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
- 建物内エア抜き管の保温(エア抜き弁以降の配管は除く)は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。
- 空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標仕<2>3.1.5の排水管の項による。
- 給水管の床下、暗渠内及び屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。
- 消火管の屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。
- 給水用配管でポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。

② 塗装工事

- 次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。
 - (屋内隅べい部分 ・)
- 機械室、隅べい部を除く露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。
- 屋内、屋外及びビット内の支持金物等のうち、ステンレス製、溶融亜鉛めっき製及び溶融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品は、原則塗装不要とする。
- 硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、塗装を省略することが出来る。

8. その他共通事項

① 支持金物等

- 屋外及びビット内の支持金物等は、ステンレス製、溶融亜鉛めっき製(HDZT49以上)及び溶融亜鉛めっき(HDZT49)と同等の耐食性能を有する製品の何れかを使用する。

② 用途等の表示

- 機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。(標仕 <1>1.7.4)
- なお、屋外及び水気のある場所(弁室内等を含む)での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候シートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。

③ 制御配線、計装配線等

- 使用する電線及びケーブルは、標仕<4>1.5.1 表4.1.11による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。

3章 関連工事

1. 仮設工事

① 工事に電力、用水については、原則として次による。ただし、施設管理者と協議すること。

- 既存電力利用(出来る ・ **出来ない**)、電力料金(有償 ・ 無償)
- 既存用水利用(出来る ・ **出来ない**)、用水料金(有償 ・ 無償)

② 工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。ただし、施設管理者と協議すること。

- 同用地は、(図示の場所に ・ **用意していないので業者にて**)設けること。
- 同用地に対する借地借家料を **円**見込んでいる。

③ 交通誘導員の配置

交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に配置すること。

- 本工程は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が (義務付けられている ・ 義務付けられていない)
- 警備員は、**延 人** (屋 人、夜 人:うち検定合格警備員 人)を見込んでいる。
- 警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。
- 配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。
- 受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。

④ 足場その他

2. 土工事

① 根切り

- 周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。
- 敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。
- 根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械掘りとする。
 - なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な 処置を定め、監督職員への承諾を受ける。

③ 埋め戻し及び盛土

- 使用土はB種とし、機器により締め固める。
 - ただし、良質の発生土が埋め戻し等に必要な量として不足する場合は、「公共工事の再生資源活用の当面の運用について」H24.6.14(建管第99号)に基づき、C種及びD種の利用を検討する。

④ 地均し

- 建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。
- 地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。

3. 地業工事

① 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等

- 材料は、市場品とする。
- 砂利及び砂地業
 - 砂利は、再生クラッシャーランとし、使用箇所は図示による。

種別	厚さ	粒度範囲
再生クラッシャーラン		

③ 締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。

④ 捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm2)とし、厚さは図示による。

4. 鉄筋工事

① 材料

- 鉄筋は、鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)のSD295とし、径は図示による。
 - 溶接金網は、溶接金網及び鉄筋格子(JIS G 3551)とし、形状、寸法及び径は図示による。

② 材料試験

材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。

③ 鉄筋の継手及び定着

- 鉄筋の継手の位置は図示による。
- 結束線の端部は内側に折り曲げる。
- 鉄筋の定着方法及び長さは図示による。

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、建標仕参考図〔1節-基礎及び基礎梁の配筋〕～〔7節-梁貫通孔その他配筋〕による。

⑤ 配筋検査

主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員への検査を受ける。

5. コンクリート工事

① 一般事項

- コンクリートの種別
 - I 類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)

2) 設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	調合管理強度 F _m (N/mm ²)	スランプ (cm)	強度試験の有無	適用箇所
普通	18	18+S	15	有	

3) 構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(F_c)に構造体強度補正値(S)を加えた値とする。

なお、構造体強度補正値(S)は建標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢 28日までの予想平均気温に応じて定める。

4) コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。

・ 第4週強度確認

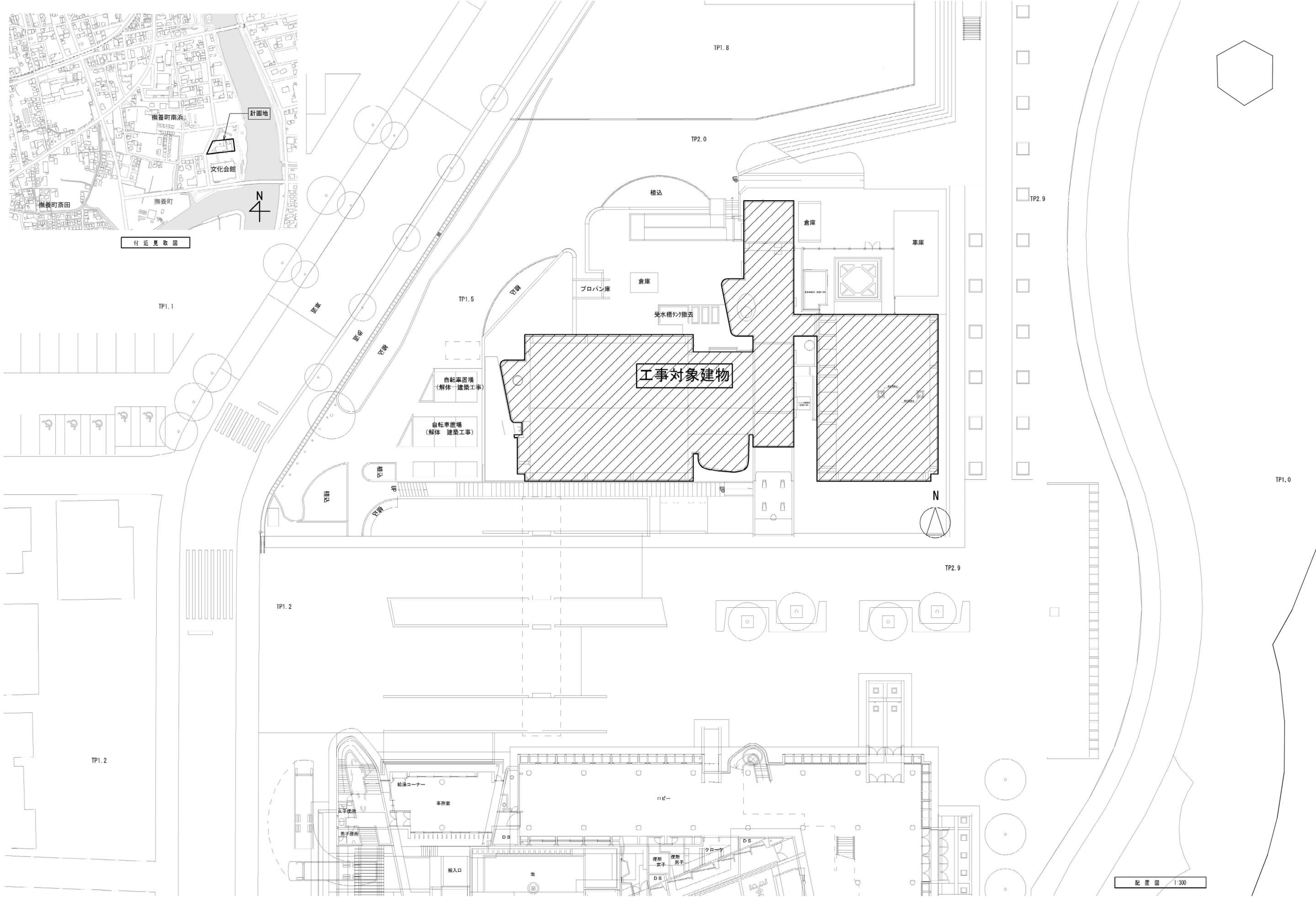
原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。ただし、JIS工場で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。

なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。

	設計	香山・タニ設計業務共同企業体	総建築士事務所 東京都知事 第12399号 香山建築研究所	鳴門市健康福祉交流センター改修工事のうち空調工事	
			一級建築士 第289714号 長谷川祥久	date:2025.07	特記仕様書5
				scale: A2 NON A3:71%	縮小



付近見取図



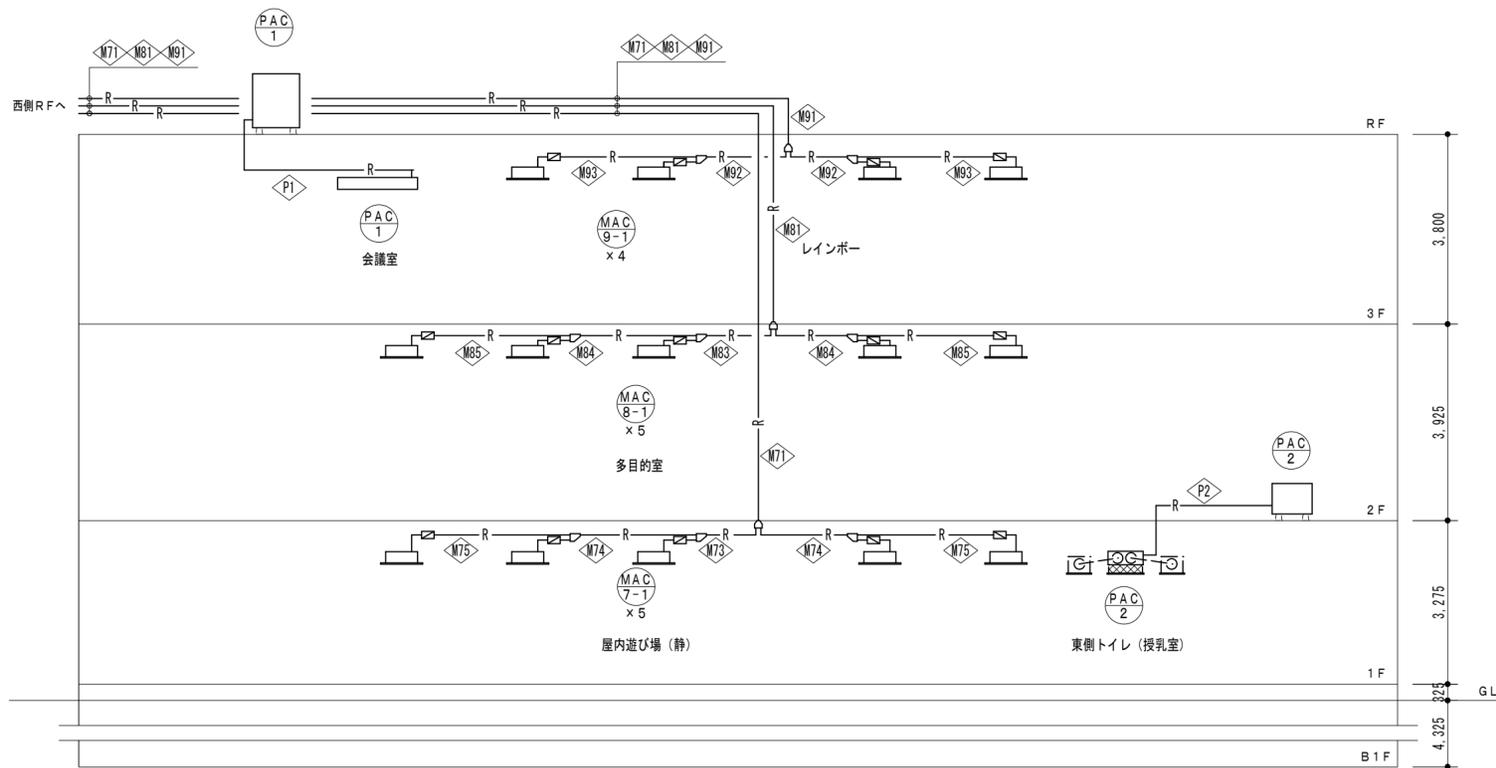
配置図 1:300

空調機器表-1 (改修後)						
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考
MAC-1	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	1階屋外 (1階歩廊系統)	RXYA450AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力45.0kW、暖房能力50.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機13.3kW、送風機0.66kW×2 消費電力：冷房12.9kW、暖房15.1kW、最大17.5kW				
MAC-2	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	1階屋外 (1階遊び場(動)系統)	RXYA335AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力33.5kW、暖房能力37.5kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機11.1kW、送風機1.03kW 消費電力：冷房9.41kW、暖房12.6kW、最大11.8kW				
MAC-3	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	1階屋外 (1階遊び場(動)系統)	RXYA335AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力33.5kW、暖房能力37.5kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機11.1kW、送風機1.03kW 消費電力：冷房12.9kW、暖房15.1kW、最大17.5kW				
MAC-4	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (2階事務室系統)	RXYA900AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力90.0kW、暖房能力100.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機13.3kW×2、送風機(0.66kW×2)×2 消費電力：冷房25.8kW、暖房30.2kW、最大35.0kW				
MAC-5	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (3階集会室系統)	RXYA670AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力67.0kW、暖房能力77.5kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機11.8kW×2、送風機1.03kW×2 消費電力：冷房18.9kW、暖房26.9kW、最大23.6kW				
MAC-6	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (3階集会室系統)	RXYA775AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力77.5kW、暖房能力90.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機14.1kW+11.7kW、送風機(0.66kW×2)+1.03kW 消費電力：冷房21.8kW、暖房29.3kW、最大29.3kW				
MAC-7	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (1階遊び場(静)系統)	RXYA850AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力85.0kW、暖房能力95.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機13.3kW+12.1kW、送風機(0.66kW×2)+(0.42kW×2) 消費電力：冷房23.9kW、暖房28.6kW、最大33.0kW				
MAC-8	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (2階多目的室)	RXYA775AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力77.5kW、暖房能力90.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機14.1kW+11.7kW、送風機(0.66kW×2)+1.03kW 消費電力：冷房21.8kW、暖房29.3kW、最大29.3kW				
MAC-9	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、重耐塩害仕様、アクティブフィルター内臓、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上 (3階レインボー)	RXYA450AH (ダイキン) 相当品
		冷房能力45.0kW、暖房能力50.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機13.3kW、送風機0.66kW×2 消費電力：冷房12.9kW、暖房15.1kW、最大17.5kW				
PAC-1	個別パッケージ空調機	天埋カセット形、4方吹天井化粧パネル、重耐塩害仕様、液晶ワイヤード回転リモコン、転倒防止金具	3φ200V	1	R階屋上 (3階会議室)	SZRC160BY (ダイキン) 相当品
		冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機3.08kW、送風機(室内)0.108kW(室外)0.186kW 消費電力：冷房4.44kW、暖房4.08kW、最大6.20kW				
PAC-2	個別パッケージ空調機	ビルトイン形、吸込みハーフパネル、重耐塩害仕様、液晶ワイヤード回転リモコン、転倒防止金具	3φ200V	1	1階屋上 (1階投乳室)	SZRB40BYT (ダイキン) 相当品
		冷房能力3.6kW、暖房能力4.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機0.65kW、送風機(室内)0.13kW(室外)0.09kW 消費電力：冷房1.04kW、暖房1.02kW、最大1.34kW 吹出口アダプター(2口)、ライン吹出ユニット×2、保温付フレキダクト200φ(2m)×2 吸込みパネル用キャンパス、集中リモコン接続対応アダプター				
注記						

冷媒配管表						
記号	冷媒管				仕様、摘要	
	ガス管	液管	管	保温材		
M11	25.4	12.7	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M12	22.2	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M13	22.2	9.5	〃	〃	〃	
M14	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M15	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M16	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M17	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M18	12.7	6.4	〃	〃	〃	
M19	12.7	6.4	〃	〃	〃	
M21	22.2	12.7	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M22	22.2	9.5	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M23	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M24	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M25	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M31	22.2	12.7	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M32	22.2	9.5	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M33	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M34	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M35	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M41	31.8	15.9	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M42	25.4	12.7	〃	〃	〃	
M43	25.4	12.7	〃	〃	〃	
M44	22.2	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M45	22.2	9.5	〃	〃	〃	
M46	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M47	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M48	12.7	6.4	〃	〃	〃	
M51	28.6	15.9	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M52	22.2	12.7	〃	〃	〃	
M53	25.4	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M54	22.2	9.5	〃	〃	〃	
M55	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M61	28.6	15.9	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M62	25.4	15.9	〃	〃	〃	
M63	25.4	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M64	22.2	9.5	〃	〃	〃	
M65	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M66	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M71	28.6	15.9	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M72	25.4	12.7	〃	〃	〃	
M73	25.4	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M74	22.2	12.7	〃	〃	〃	
M75	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M81	28.6	15.9	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M82	25.4	12.7	〃	〃	〃	
M83	25.4	12.7	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
M84	22.2	12.7	〃	〃	〃	
M85	15.9	9.5	〃	〃	〃	
M91	25.4	12.7	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
M92	19.1	9.5	〃	〃	〃	
M93	15.9	9.5	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
P1	15.9	9.5	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カバー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
P2	12.7	6.4	〃	〃	〃	

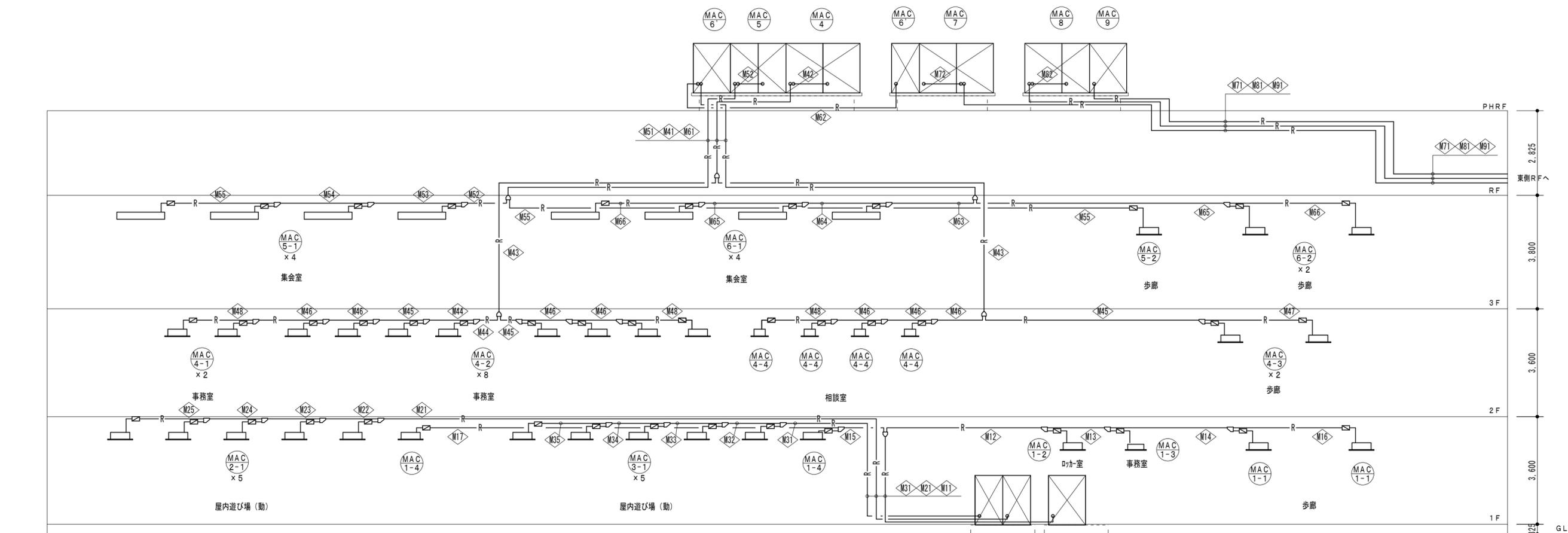
空調機器表-2 (改修後)														
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考	記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考	
MAC-1-1	マルチ室内機	天井カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	2	1階歩廊	FXYFA112NAA (ダイキン) 相当品	MAC-5-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	4	3階集会室	FXYFA140NAA (ダイキン) 相当品	
		冷房能力11.2kW、暖房能力12.5kW、冷媒ガスR32							冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW、冷媒ガスR32					
		送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器							送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
		消費電力：冷房187W、暖房174W							消費電力：冷房209W、暖房200W					
MAC-1-2	マルチ室内機	天井カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	1	1階ロッカー室	FXYFA28NAA (ダイキン) 相当品	MAC-5-2	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	1	3階歩廊	FXYFA112NAA (ダイキン) 相当品	
		冷房能力2.8kW、暖房能力3.2kW、冷媒ガスR32							冷房能力11.2kW、暖房能力12.5kW、冷媒ガスR32					
		送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器							送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
		消費電力：冷房33W、暖房27W							消費電力：冷房187W、暖房174W					
MAC-1-3	マルチ室内機	天井カセット形、1方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	1	1階受付事務室	FXYKA22AA (ダイキン) 相当品								
		冷房能力2.2kW、暖房能力2.5kW、冷媒ガスR32												
		送風機78W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器												
		消費電力：冷房38W、暖房38W												
MAC-1-4	マルチ室内機	天井カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	2	1階屋内遊び場(動)	FXYFA71NAA (ダイキン) 相当品	MAC-6-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	4	3階集会室	FXYFA140NAA (ダイキン) 相当品	
		冷房能力7.1kW、暖房能力8.0kW、冷媒ガスR32							冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW、冷媒ガスR32					
		送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器							送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
		消費電力：冷房72W、暖房68W							消費電力：冷房209W、暖房200W					
							MAC-6-2	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	2	3階歩廊	FXYFA112NAA (ダイキン) 相当品	
									冷房能力11.2kW、暖房能力12.5kW、冷媒ガスR32					
									送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房187W、暖房174W					
MAC-2-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	5	1階屋内遊び場(動)	FXYFA71NAA (ダイキン) 相当品								
									冷房能力7.1kW、暖房能力8.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房72W、暖房68W					
							MAC-7-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	5	1階屋内遊び場(静)	FXYFA160NAA (ダイキン) 相当品	
									冷房能力16.0kW、暖房能力18.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房217W、暖房207W					
MAC-3-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	5	1階屋内遊び場(動)	FXYFA71NAA (ダイキン) 相当品								
									冷房能力7.1kW、暖房能力8.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房72W、暖房68W					
							MAC-8-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	5	2階多目的室	FXYFA160NAA (ダイキン) 相当品	
									冷房能力16.0kW、暖房能力18.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房217W、暖房207W					
MAC-4-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	2	2階事務室	FXYFA56NAA (ダイキン) 相当品								
									冷房能力5.6kW、暖房能力6.3kW、冷媒ガスR32					
									送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房52W、暖房38W					
MAC-4-2	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	8	2階事務室	FXYFA45NAA (ダイキン) 相当品	MAC-9-1	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	4	3階レインボー	FXYFA112NAA (ダイキン) 相当品	
									冷房能力4.5kW、暖房能力5.0kW、冷媒ガスR32					冷房能力11.2kW、暖房能力12.5kW、冷媒ガスR32
									送風機53W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器
									消費電力：冷房47W、暖房34W					消費電力：冷房187W、暖房174W
MAC-4-3	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	2	2階歩廊	FXYFA140NAA (ダイキン) 相当品								
									冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機106W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房209W、暖房200W					
MAC-4-4	マルチ室内機	天井埋込カセット形、4方吹天井化粧パネル、液晶ワイヤード運転リモコン	1φ200V	4	2階相談室1~4	FXYZA36AA (ダイキン) 相当品								
									冷房能力3.6kW、暖房能力4.0kW、冷媒ガスR32					
									送風機50W、遮断弁ユニット、ドレンアップ装置内臓、冷媒分流器					
									消費電力：冷房45W、暖房38W					

注記
・液晶ワイヤード運転リモコンの数は自動制御図による。
・
・

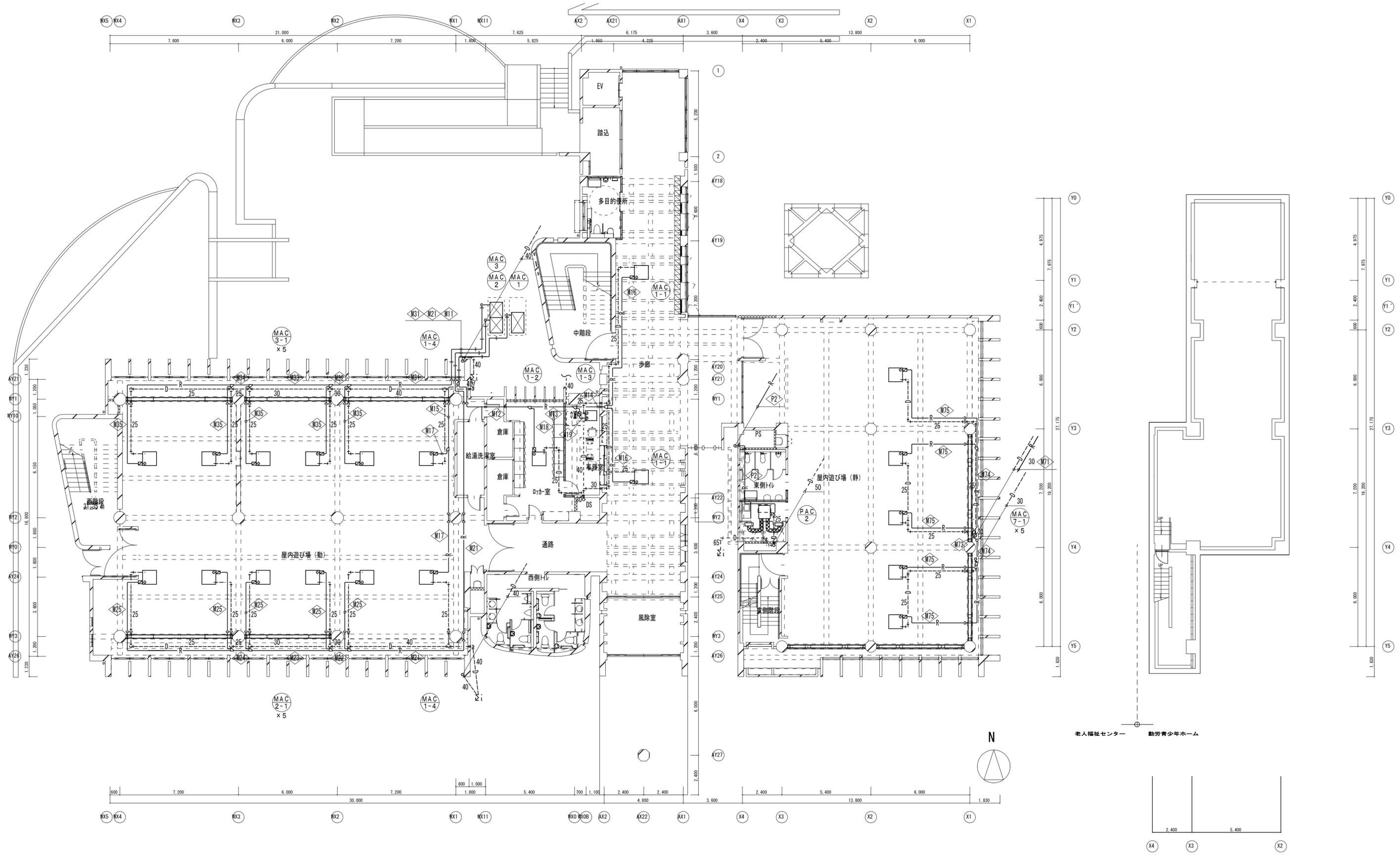


東側 空調設備立管系統図 1:100

階	記号	数	開口寸法	摘要	場所
1	MAC 1-2	1	860~910角	天井解体、開口部補強	ロッカー室
	MAC 1-3	1	840×618	"	受付事務室
2	MAC 4-1	2	860~910角	天井解体、開口部補強	事務室
	MAC 4-2	8	"	"	事務室
	MAC 4-3	2	"	"	歩廊
	MAC 4-4	4	585~595角	"	相談室
	MAC 8-1	5	860~910角	"	多目的室
3	MAC 5-1	4	860~910角	天井解体、開口部補強	集会室
	MAC 4-1	1	"	"	歩廊
	MAC 4-1	4	"	"	集会室
	MAC 4-1	2	"	"	歩廊
	MAC 4-1	4	"	"	レインボー

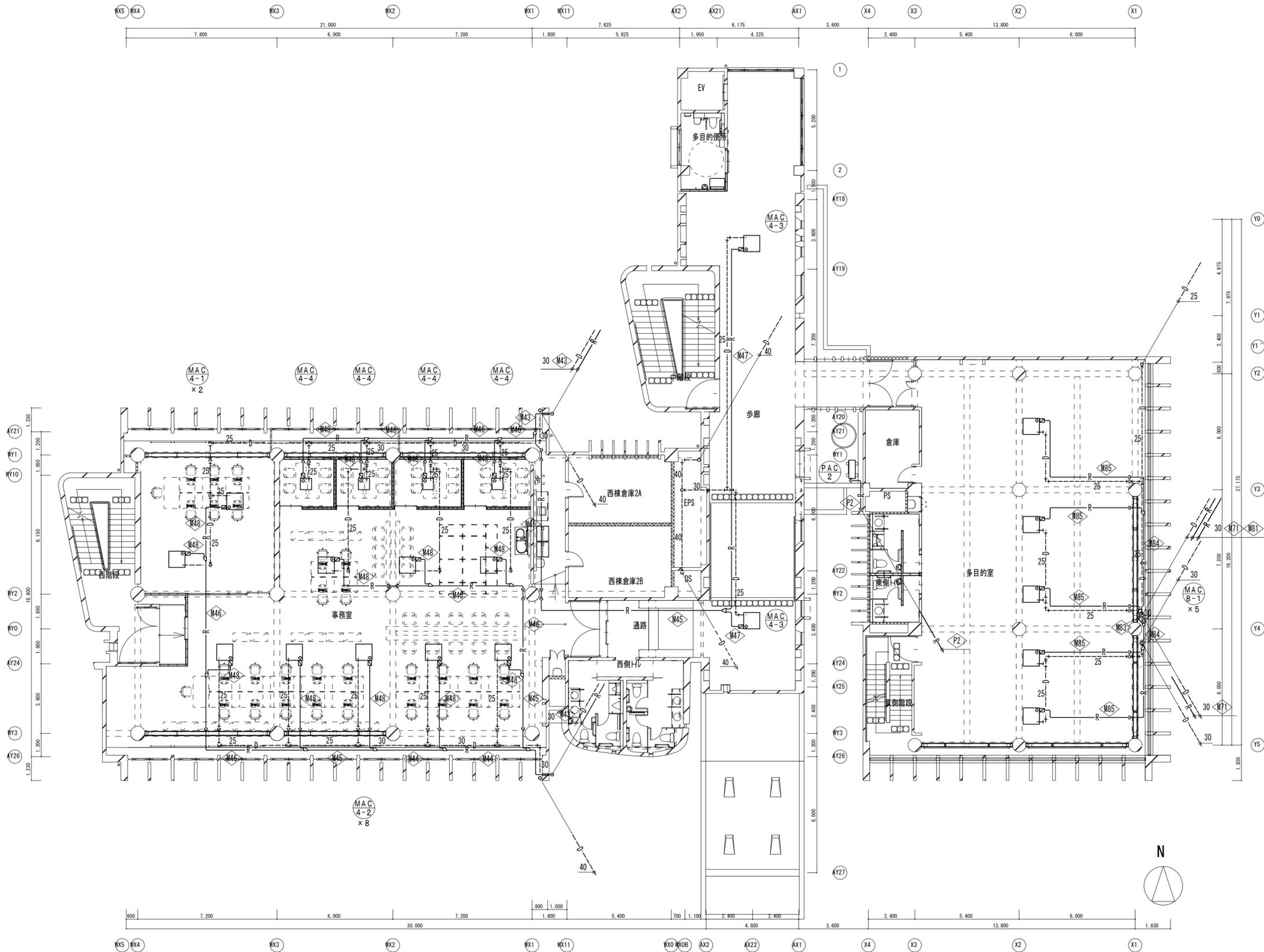


西側 空調設備立管系統図 1:100

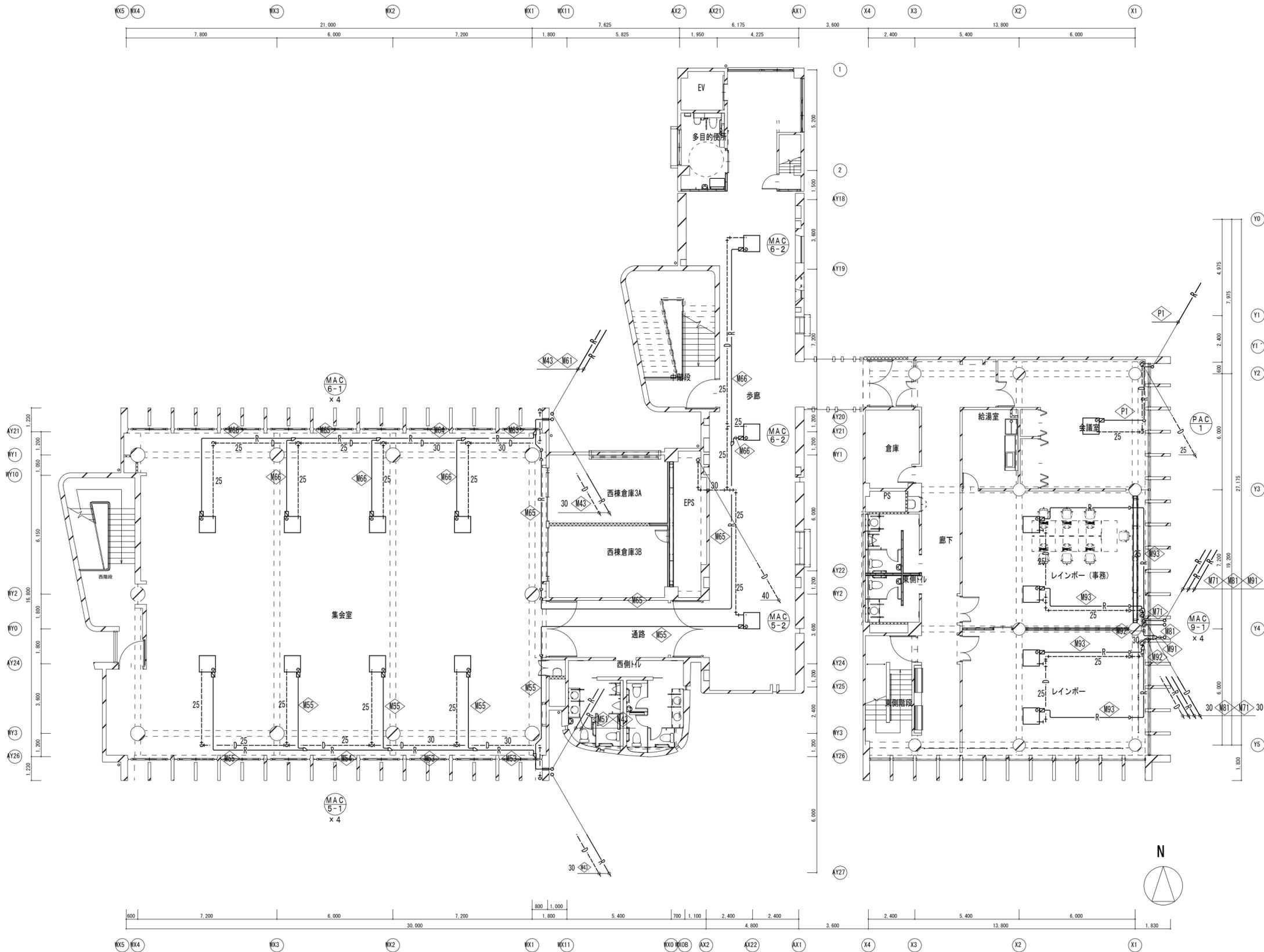


1階空調設備図(改修後) 1:150

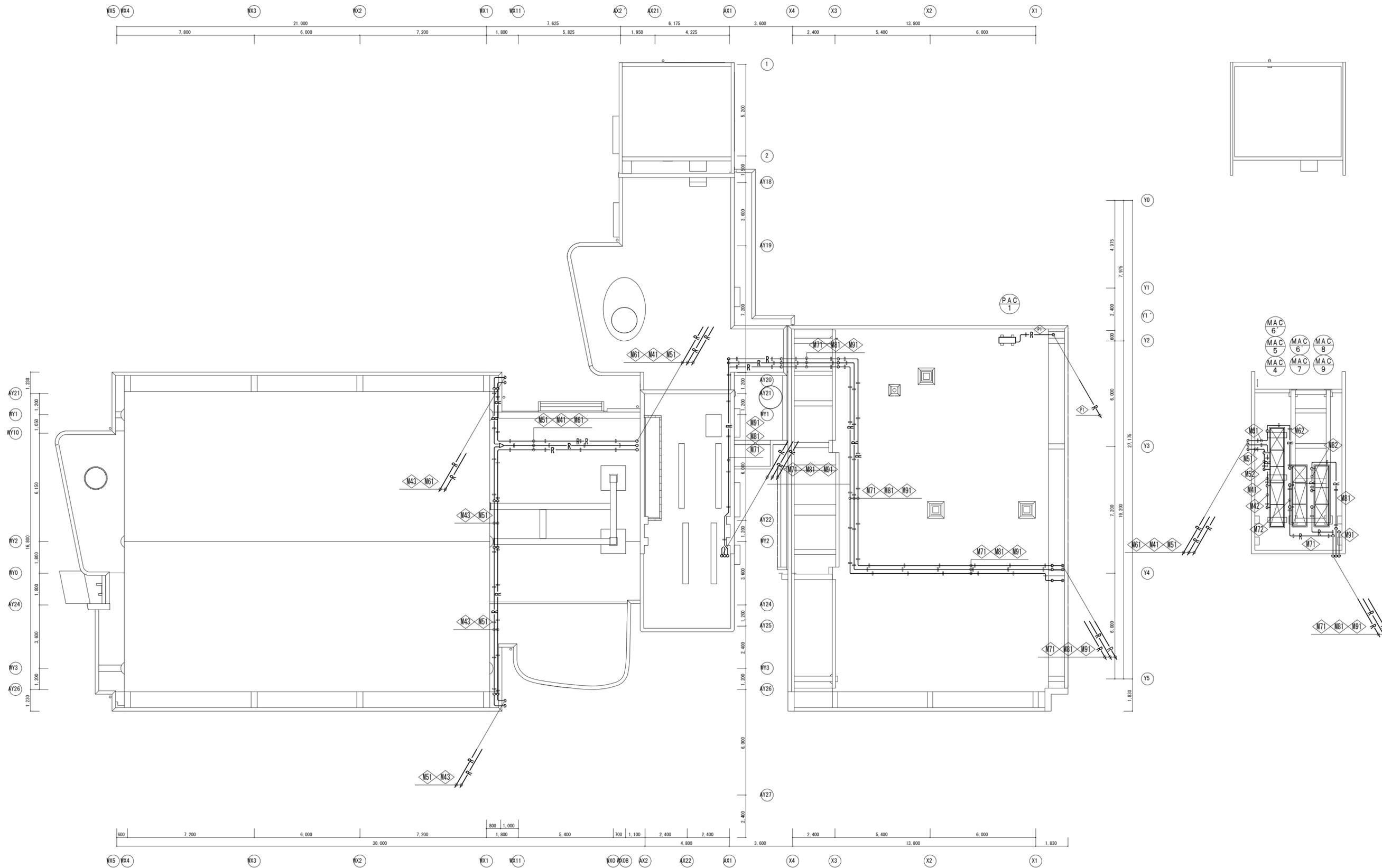
地階空調設備図(改修後) 1:150



2階空調設備図 (改修後) 1:150



3階空調設備図 (改修後) 1:150

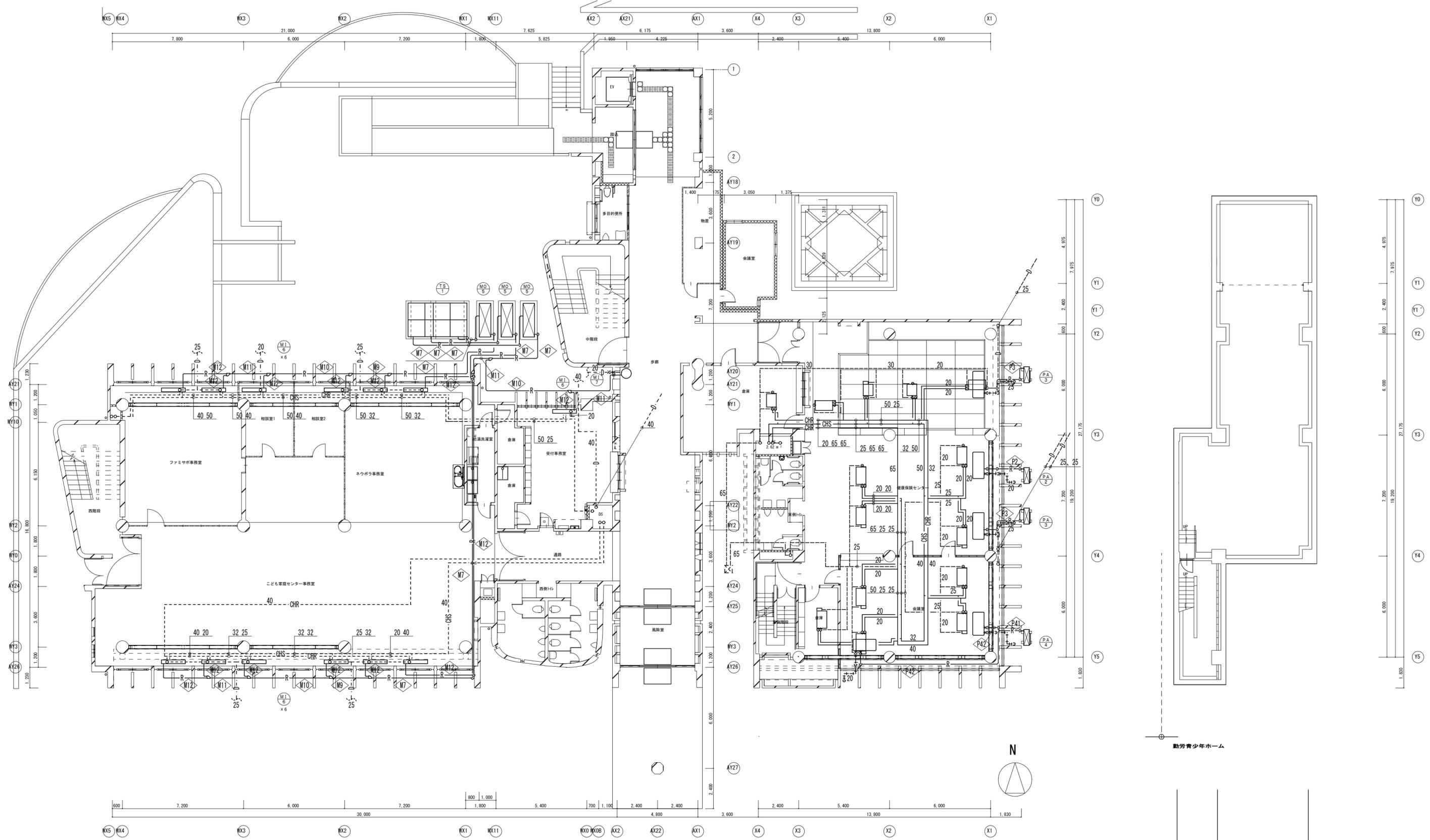


R階空調設備図(改修後) 1:150

空調機器表-1 (改修前) 撤去						
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考
MO-1	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、防振架台	3φ200V	1	塔屋階屋上	コンクリート基礎残置
		冷房能力89.5kW、暖房能力100.5kW				
		圧縮機13.3kW×2、送風機 kW、連結材、付属品共				
MO-2	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、防振架台	3φ200V	2	塔屋階屋上	コンクリート基礎残置
		冷房能力56.0kW、暖房能力63.0kW				
		圧縮機17.0kW、送風機 kW、連結材、付属品共				
MO-3	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、防振架台	3φ200V	2	R階屋上	コンクリート基礎残置
		冷房能力56.0kW、暖房能力63.0kW				
		圧縮機17.0kW、送風機 kW、連結材、付属品共				
MO-4	マルチ室外機	空冷ヒートポンプマルチユニット、防振架台	3φ200V	1	R階屋上	コンクリート基礎残置
		冷房能力33.5kW、暖房能力37.5kW				
		圧縮機11.1kW、送風機 kW、連結材、付属品共				
MO-5	マルチ室外機	氷蓄熱式空冷ヒートポンプマルチユニット	3φ200V	3	1階屋外	コンクリート基礎1基撤去 2基残置
		冷房能力35.5kW、暖房能力35.5kW				
		圧縮機2.0kW+5.5kW、送風機0.14kW+0.2kW、連結材、付属品共				
TS-1	氷蓄熱槽	FRP製パネルタンク、複合板		1	1階屋外	コンクリート基礎撤去
		3500×2000×2000、マンホール、内外梯子				
		形鋼平架台、付属品共				
M1-1	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、天井吊形	1φ200V	8	3階集会室	
		冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW				
		送風機0.3kW、リモコンスイッチ、付属品共				
M1-2	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、天井吊形	1φ200V	5	2階軽運動室 2階休憩室	
		冷房能力11.2kW、暖房能力12.5kW				
		送風機0.15kW、リモコンスイッチ、付属品共				
M1-3	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、天井吊形	1φ200V	2	3階調理室	
		冷房能力9.0kW、暖房能力10.0kW				
		送風機0.15kW、リモコンスイッチ、付属品共				
M1-4	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、天井吊形	1φ200V	2	3階講習室	
		冷房能力7.1kW、暖房能力8.0kW				
		送風機0.091kW、リモコンスイッチ、付属品共				
M1-5	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、天井埋込カセット形、4方吹出化粧パネル付	1φ200V	4	2階歩廊×2 3階歩廊×2	
		冷房能力2.8kW、暖房能力3.2kW				
		送風機0.053kW、リモコンスイッチ、付属品共				
M1-6	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、床置ローボーイ形	1φ200V	25	1階事務室 1階受付事務室×12 2階事務室×6 2階会議室×6	
		冷房能力7.1kW、暖房能力8.0kW				
		送風機0.117kW、床置台、付属品共				
M1-7	マルチ室内機	空冷ヒートポンプマルチユニット、床置丸形	1φ200V	1	1階歩廊	
		冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW				
		送風機1.0kW、床置台、付属品共				
注 記						
・ダクト類の解体前に大気汚染防止法に基づきアスベスト等の特定建築材に該当するものを調査し、対象物があった場合は、監督員の指示に従い適切に処理を行うこと。						
.						
.						

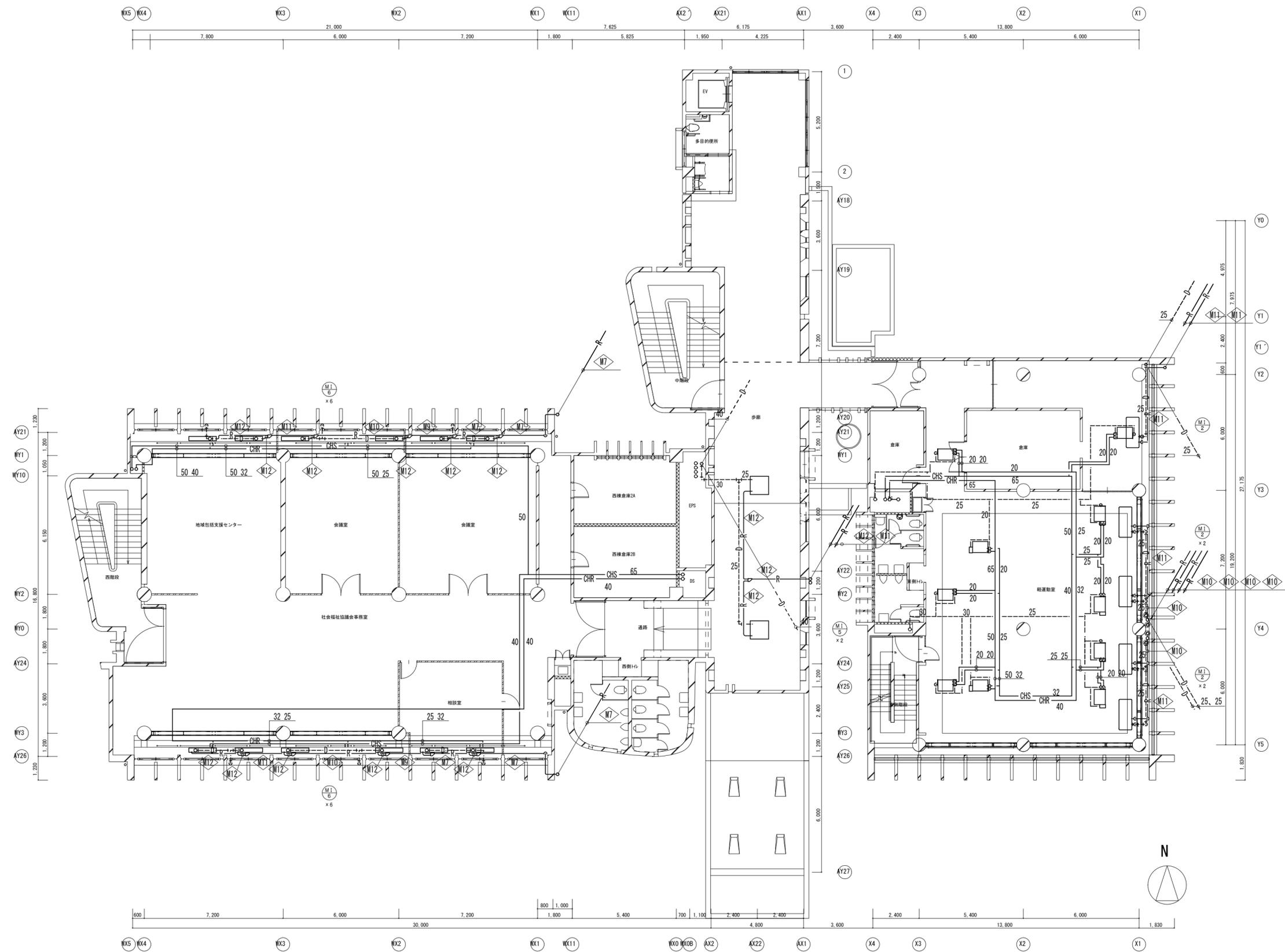
空調機器表-2 (改修前) 撤去						
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考
PA-1	個別パッケージ空調機	天井吊形、液晶ワイヤード運転リモコン	3φ200V	1	3階会議室	コンクリート基礎撤去
		冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW				
		圧縮機3.08kW、送風機(室内)0.15kW (室外)0.186kW、付属品共				
PA-2	個別パッケージ空調機	天井吊形、液晶ワイヤード運転リモコン	3φ200V	1	1階健保センター	コンクリート基礎撤去
		冷房能力12.5kW、暖房能力14.0kW				
		圧縮機2.4kW、送風機(室内) kW (室外)0.14kW、付属品共				
PA-3	個別パッケージ空調機	天井吊形、液晶ワイヤード運転リモコン	3φ200V	2	1階健保センター	コンクリート基礎撤去
		冷房能力14.0kW、暖房能力16.0kW				
		圧縮機2.9kW、送風機(室内) kW (室外)0.15kW、付属品共				
PA-4	個別パッケージ空調機	天井吊形ツインタイプ、液晶ワイヤード運転リモコン	3φ200V	1	1階会議室	コンクリート基礎撤去
		冷房能力12.5kW、暖房能力14.0kW、冷媒ガスR32				
		圧縮機2.8kW、送風機(室内) kW×2 (室外)0.12kW、付属品共				
FCU-1	ファンコイルユニット	天井隠ぺい形、運転スイッチ	1φ100V	6	3階集会室	吹出ダクト撤去
		冷房能力8650kcal/h、暖房能力13410kcal/h				
		送風機226W、冷温水弁、付属品共				
FCU-2	ファンコイルユニット	天井隠ぺい形、運転スイッチ	1φ100V	13	1階健保センター×7 1階会議室×4 3階会議室×2	吹出ダクト撤去
		冷房能力2800kcal/h、暖房能力2550kcal/h				
		送風機54W、冷温水弁、付属品共				
FCU-3	ファンコイルユニット	天井隠ぺい形、運転スイッチ	1φ100V	20	1階倉庫 2階軽運動室×10 3階調理室・給湯室×5 3階講習室×4	吹出ダクト撤去
		冷房能力2100kcal/h、暖房能力1850kcal/h				
		送風機51W、冷温水弁、付属品共				
FCU-4	ファンコイルユニット	天井隠ぺい形、運転スイッチ	1φ100V	2	1階会議室	吹出ダクト撤去
		冷房能力1330kcal/h、暖房能力1760kcal/h				
		送風機42W、冷温水弁、付属品共				
.						
.						

冷媒配管表 (改修前)						
記号	冷媒管				仕様、摘要	
	ガス管	液管	管	保温材		
◇M1	4.4.5	2.2.2	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カパー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：SUS鋼板ラッキング	
◇M2	4.4.5	1.9.1	〃	〃	〃	
◇M3	3.8.1	1.9.1	〃	〃	〃	
◇M4	3.8.1	1.5.9	〃	〃	〃	
◇M5	2.8.6	1.9.1 1.2.7	〃	〃	〃	
◇M6	2.8.6	1.5.9	〃	〃	〃	
◇M7	2.5.4	1.2.7	〃	〃	〃	
◇M8	2.2.2	1.2.7	〃	〃	〃	
◇M9	2.2.2	9.5	〃	〃	〃	
◇M10	1.9.1	9.5	〃	〃	〃	
◇M11	1.5.9	9.5	〃	〃	〃	
◇M12	1.2.7	6.4	〃	〃	〃	
◇P1	1.5.9	9.5	断熱材被覆銅管(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材厚(ガス管20mm、液管10mm)	屋内露出：合成樹脂カパー、隠ぺい：ビニルテープ巻、屋外露出：着色亜鉛鉄板ラッキング	
◇P2	1.5.9	9.5	〃	〃	〃	
◇P3	1.5.9	9.5	〃	〃	〃	
◇P4	1.5.9	9.5	〃	〃	〃	
◇P4Z	1.5.9	9.5	〃	〃	屋内露出：合成樹脂カパー、隠ぺい：ビニルテープ巻	
注 記						
・配管類の解体前に大気汚染防止法に基づきアスベスト等の特定建築材に該当するものを調査し、対象物があった場合は、監督員の指示に従い適切に処理を行うこと。						
.						

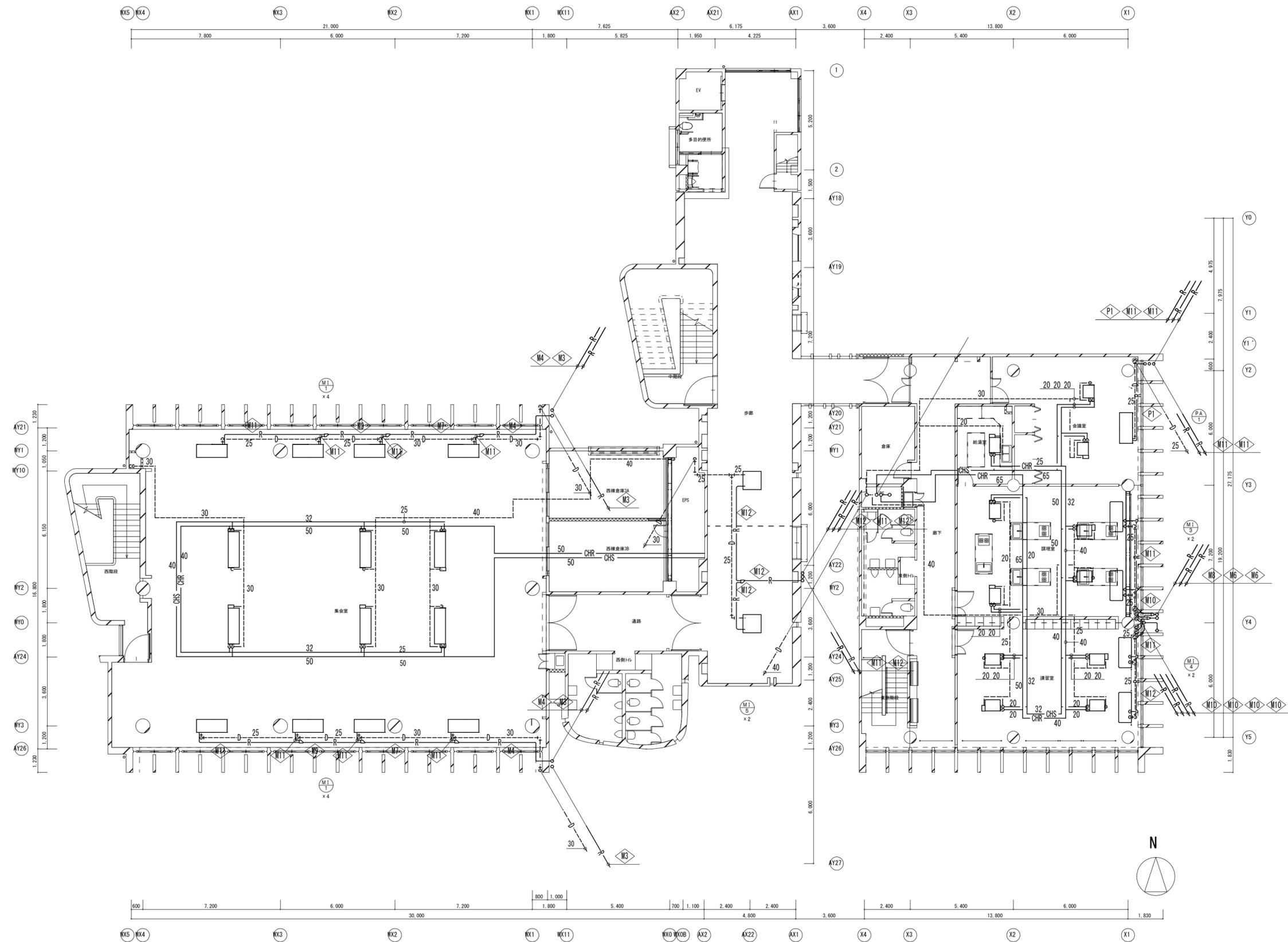


1階空調設備図(改修前) 1:150

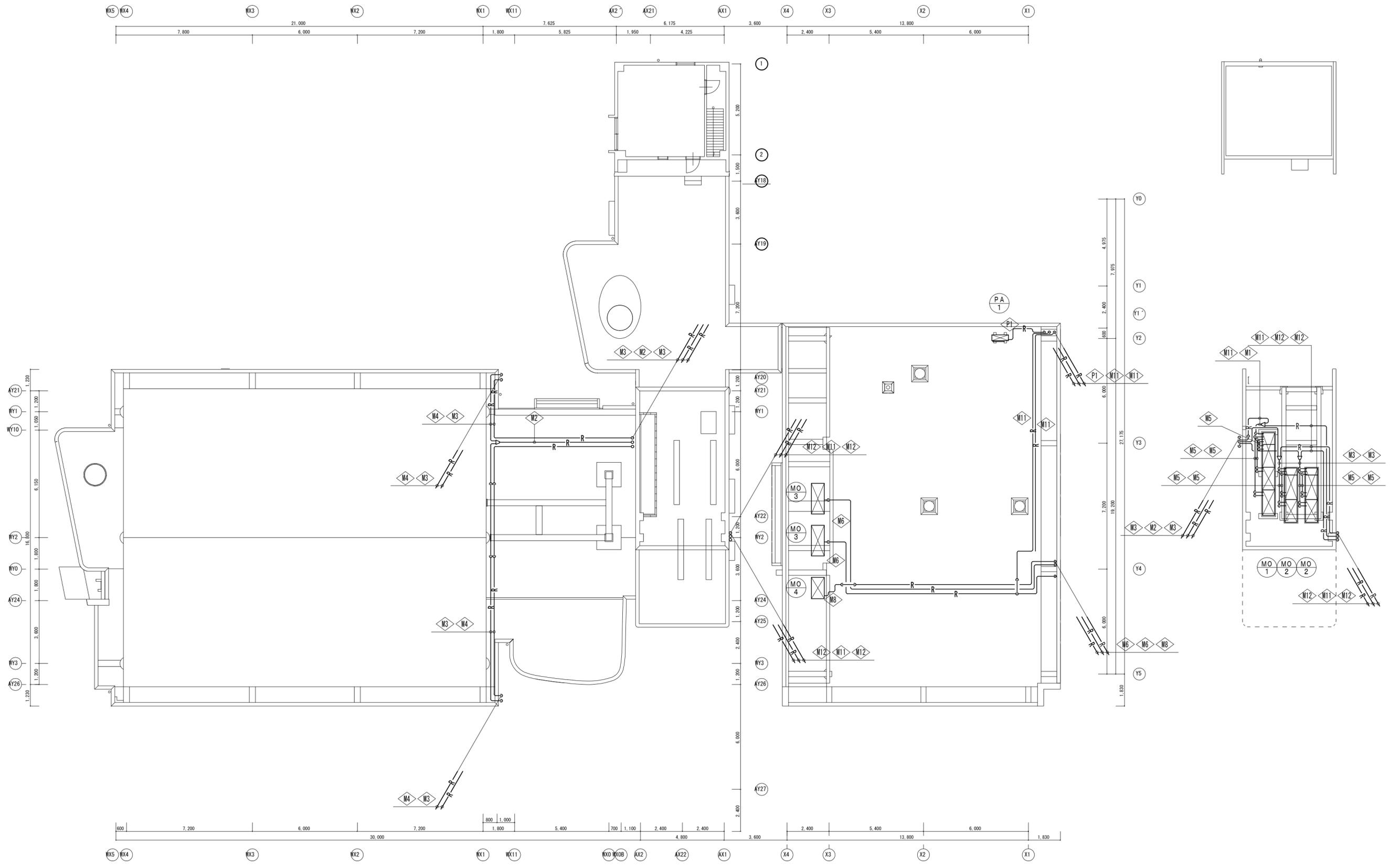
地階空調設備図(改修前) 1:150



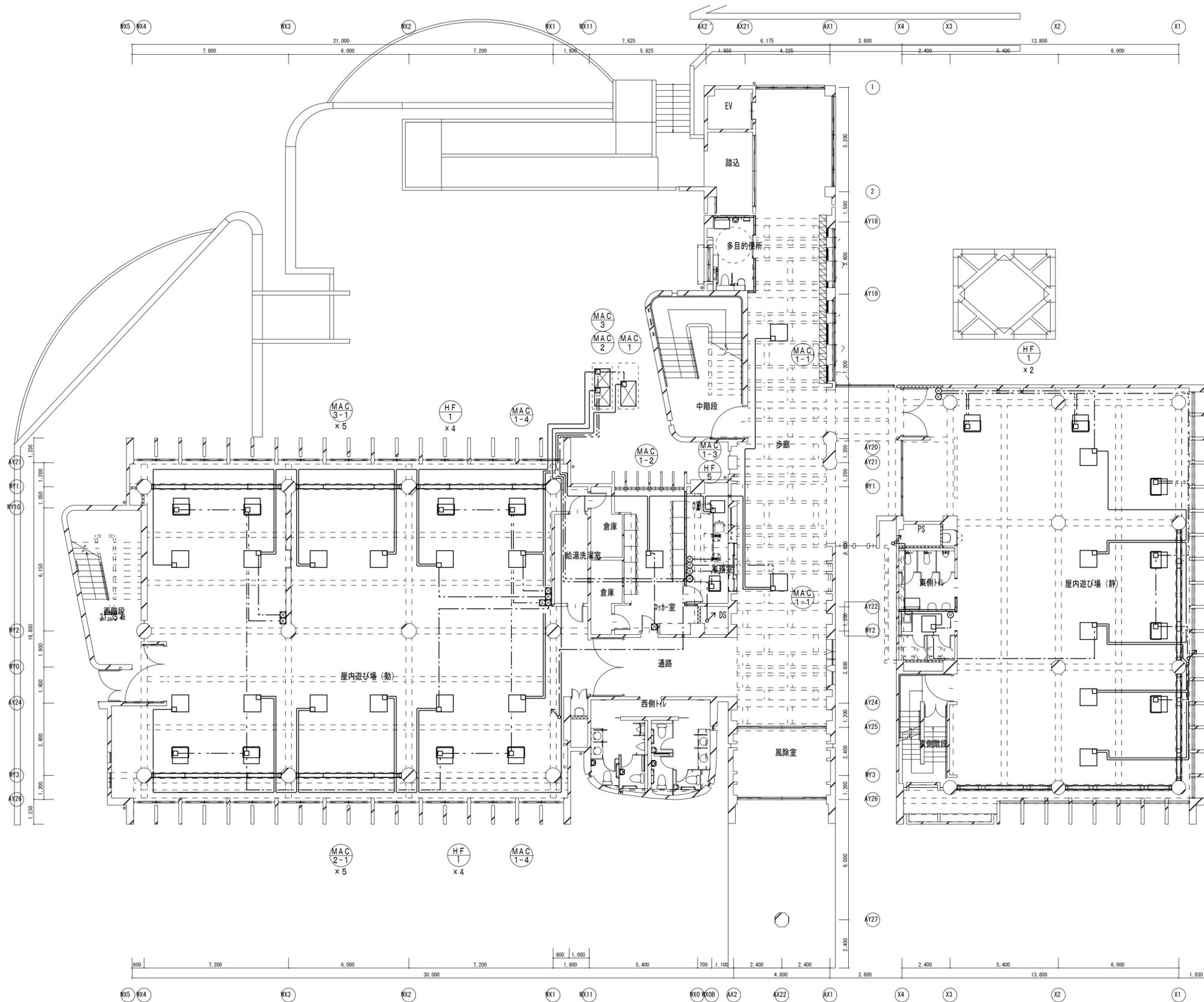
2階空調設備図(改修前) 1:150



3階空調設備図(改修前) 1:150



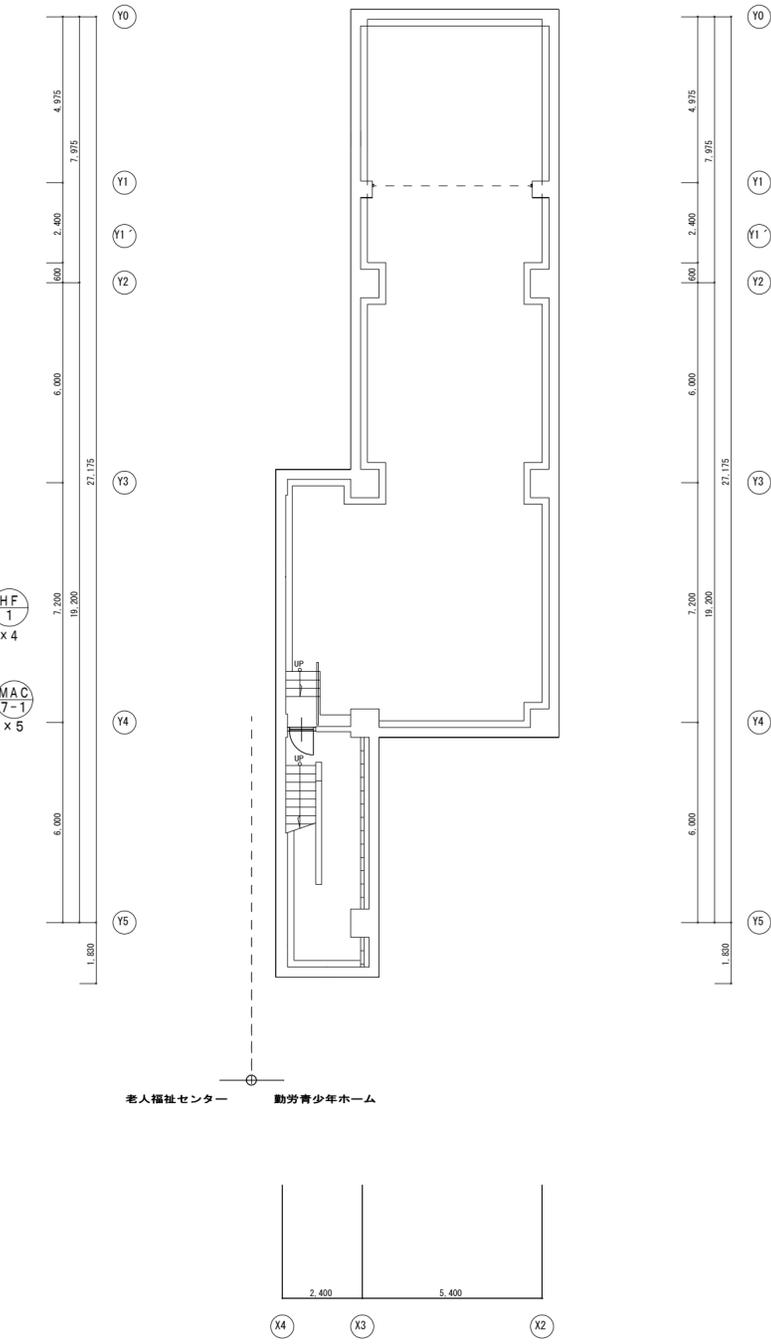
R階空調設備図(改修前) 1:150



	EM-CEE1.25sq-2C、EM-CEE2sq-2C(冷媒管巻き)
	EM-CEE1.25sq-2C(E19) 屋内露出
	EM-CEE1.25sq-2Cx2(E31) 屋内露出
	EM-CEE1.25sq-2Cx2(G28) 屋外露出

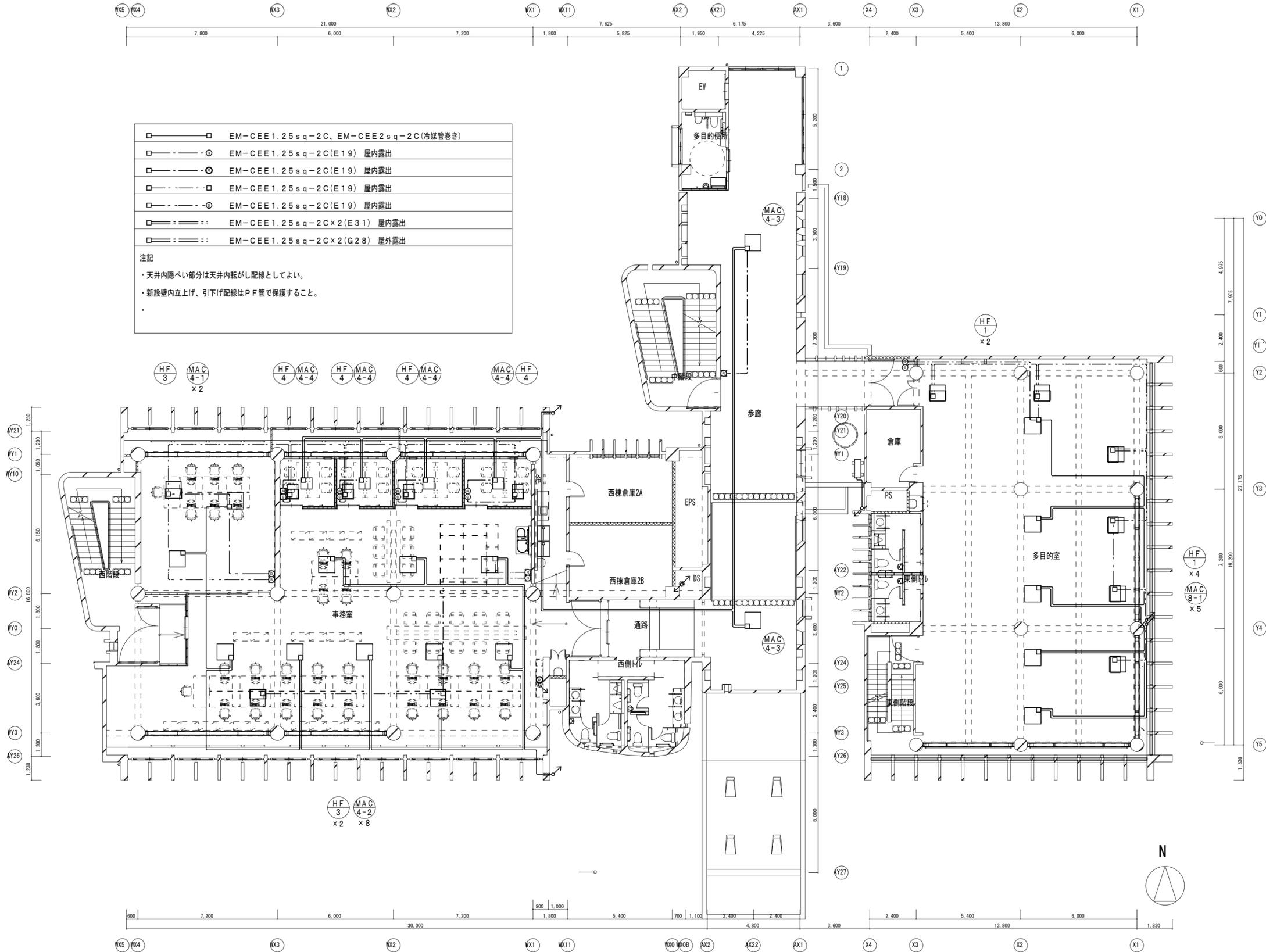
注記

- ・天井内隠ぺい部分は天井内転がし配線としてよい。
- ・新設壁内立上げ、引下げ配線はP F管で保護すること。

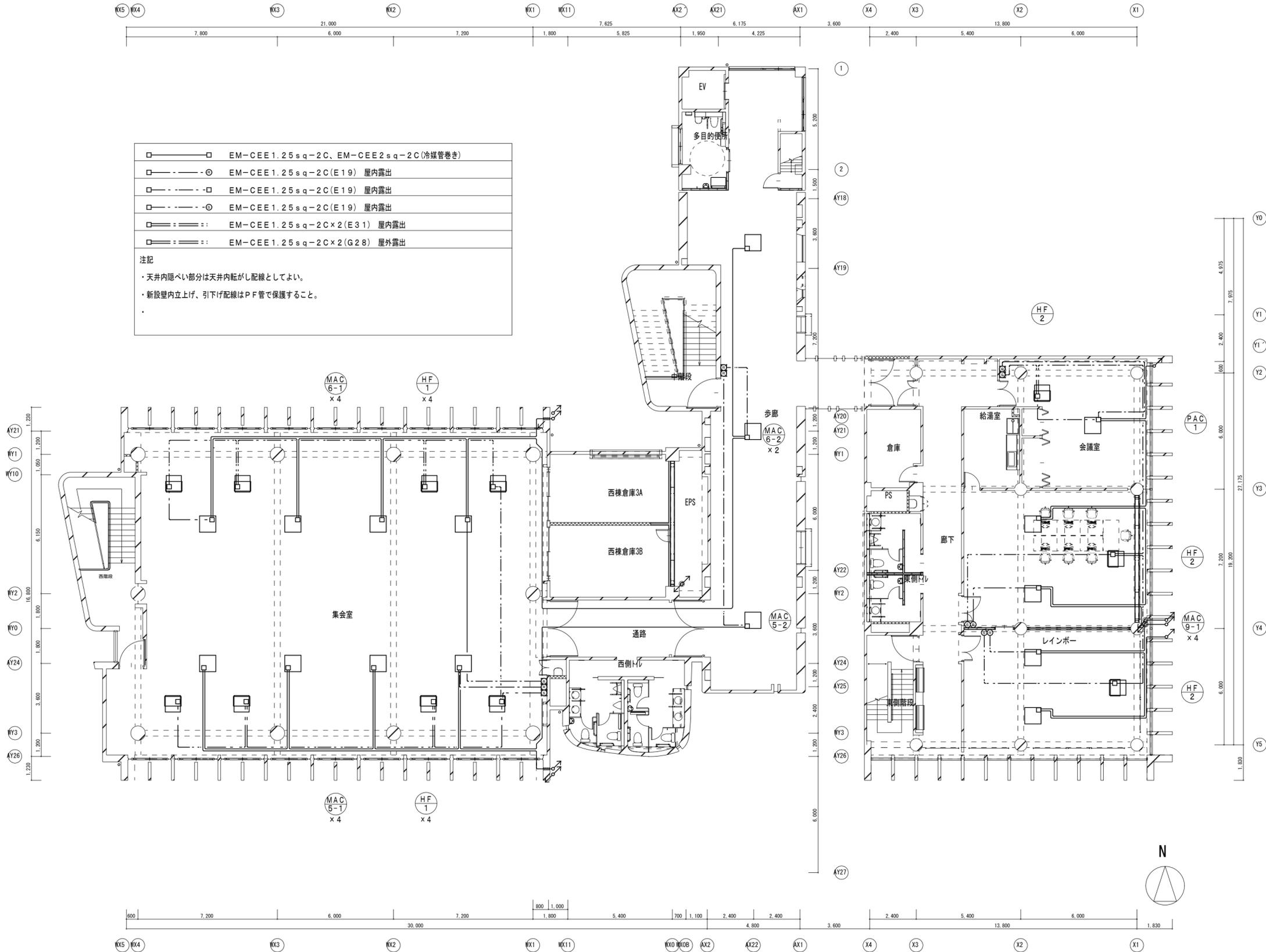


1階制御設備図(改修後) 1:150

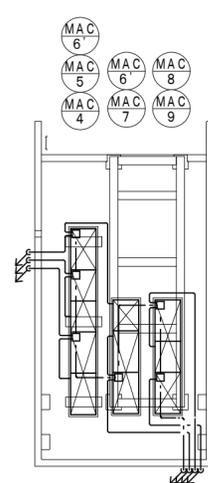
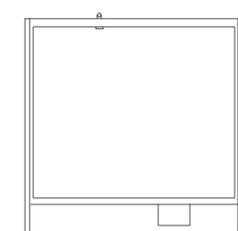
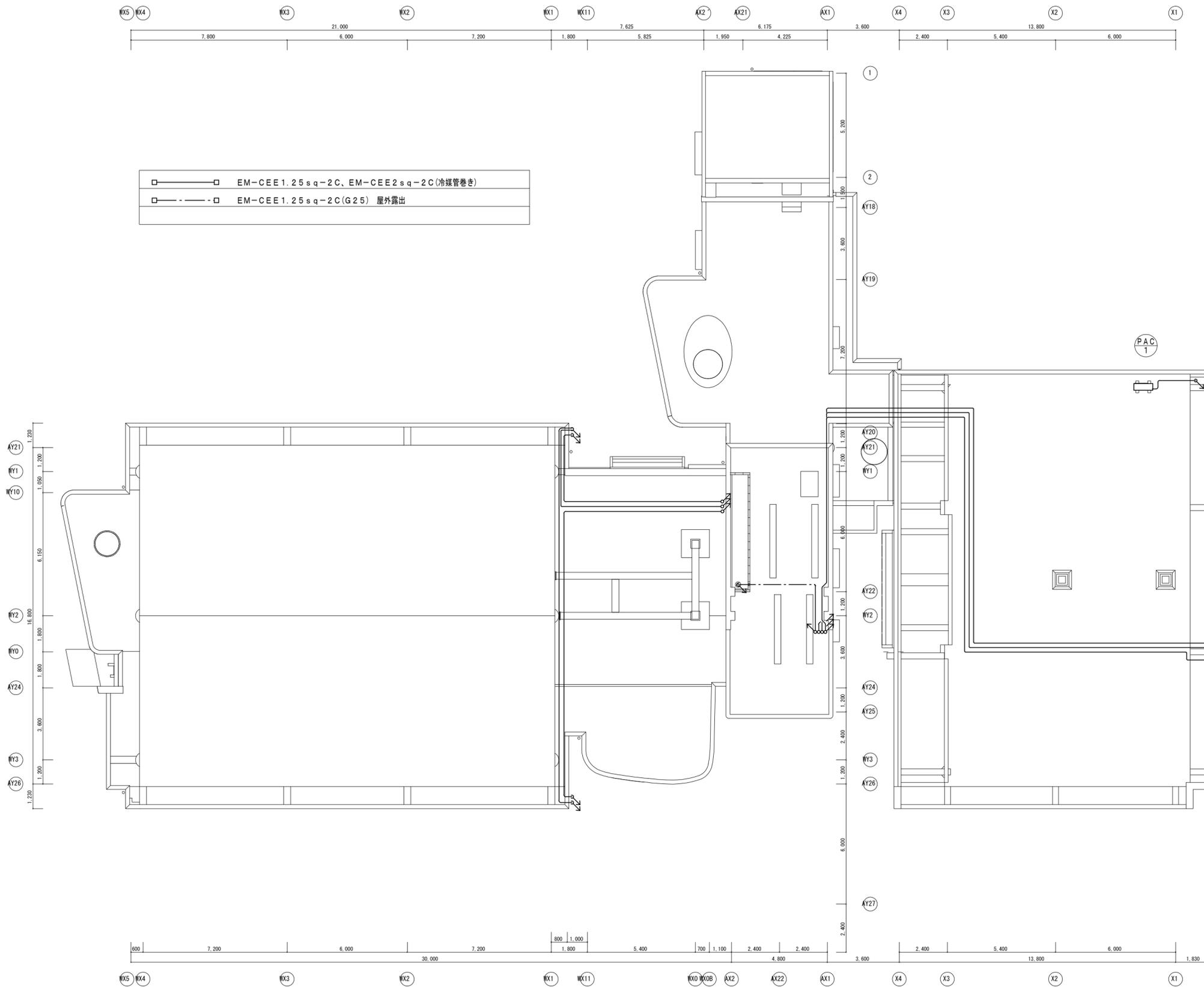
地階空調設備図(改修後) 1:150



2階制御設備図 (改修後) 1:150



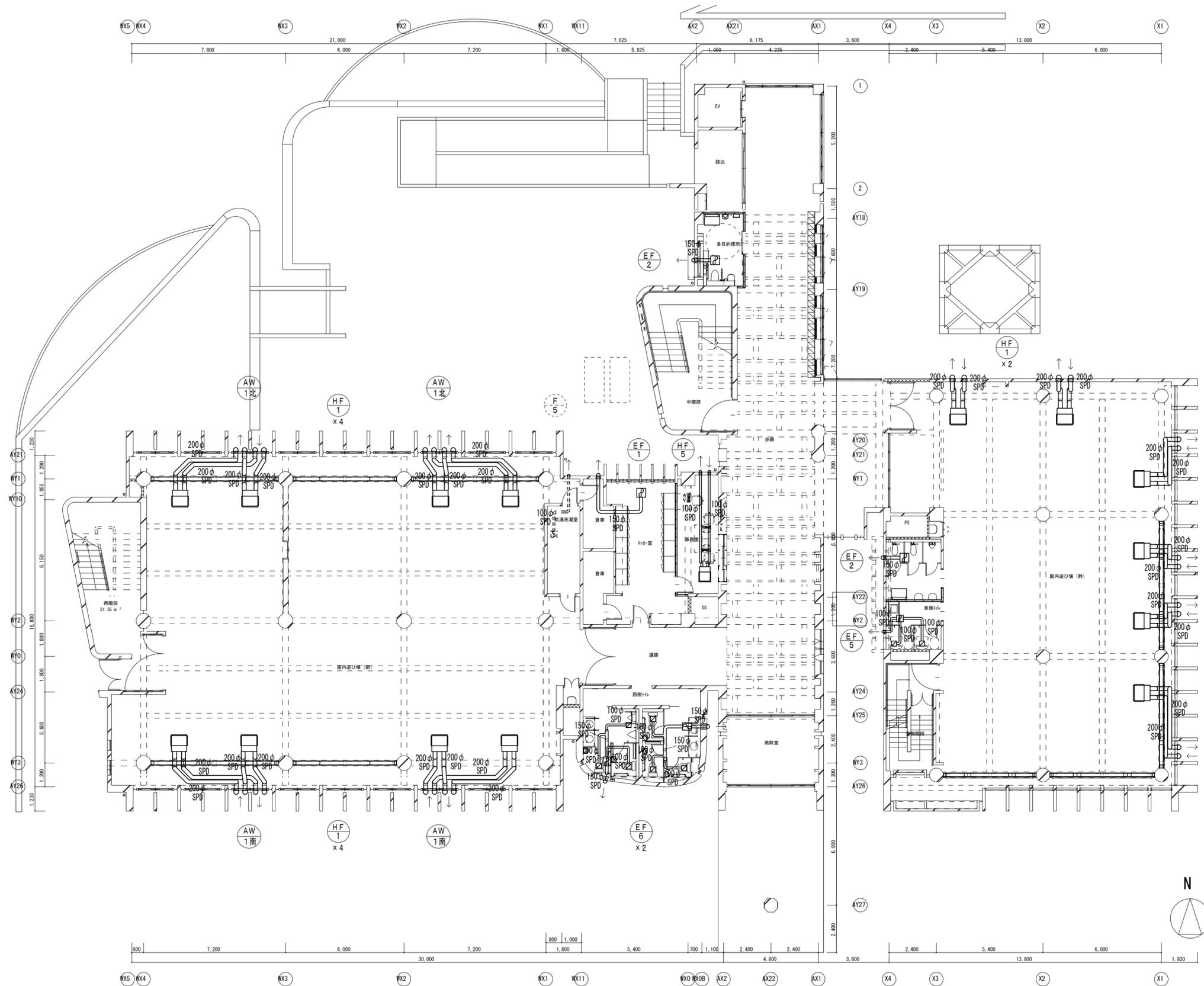
3階制御設備図 (改修後) 1:150



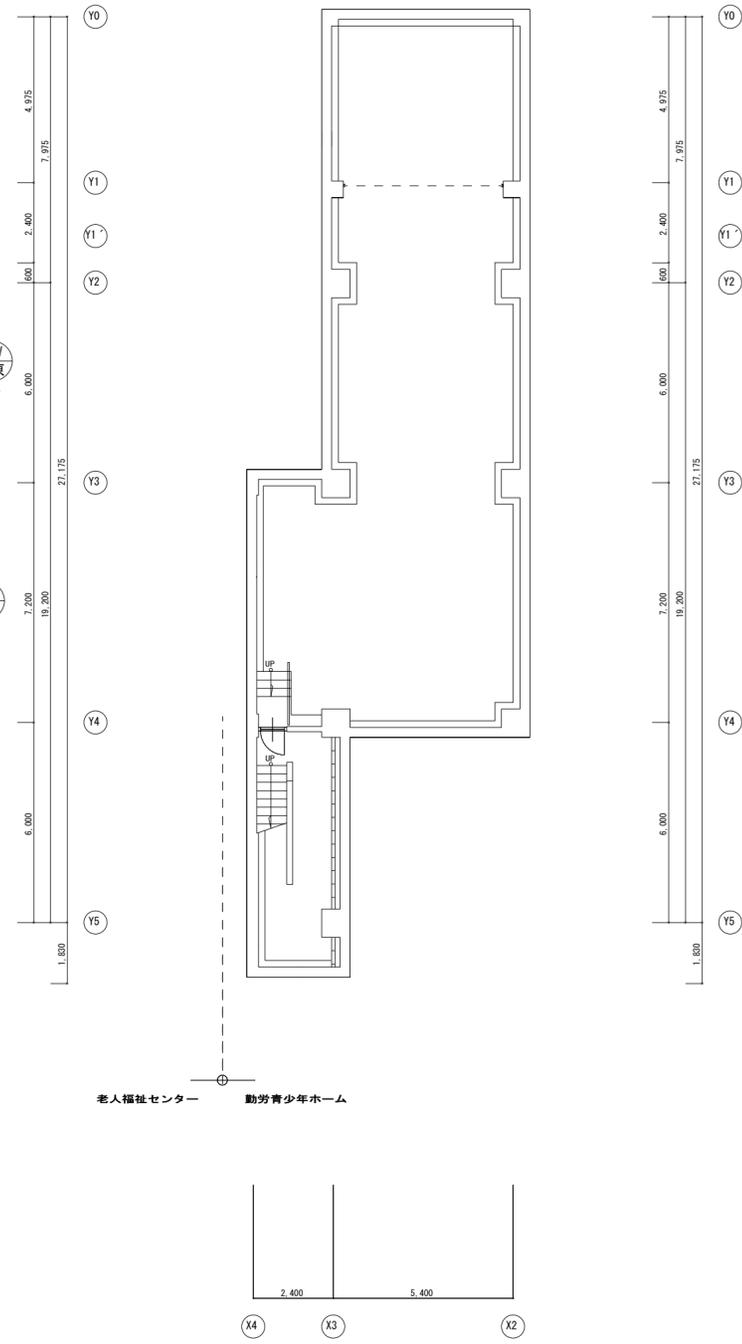
R階制御設備図(改修後) 1:150

換気機器表 (改修後)						
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考
HF1	全熱交換式換気扇	天井埋込カセット形、ワイヤードリモコン (空調連動運転)	1φ200V	28	1階屋内遊び場(動)×8 1階屋内遊び場(静)×6 2階多目的室×6 3階集会室×8	VAC500GF (ダイキン) 相当品
		処理風量: 強500m3/h、弱240m3/h				
		消費電力: 強250W、弱: 105W、ファン0.1kW				
		200φ防虫網付SUS深形パイプフード×2、付属品共				
HF2	全熱交換式換気扇	天井埋込カセット形、ワイヤードリモコン (空調連動運転)	1φ200V	3	3階会議室 3階レインボー	VAC500GF (ダイキン) 相当品
		処理風量: 強400m3/h、弱225m3/h				
		消費電力: 強250W、弱: 105W、ファン0.1kW				
		200φ防虫網付SUS深形パイプフード×2、付属品共				
HF3	全熱交換式換気扇	天井埋込カセット形、ワイヤードリモコン (空調連動運転)	1φ200V	3	2階事務室	VAC350GF (ダイキン) 相当品
		処理風量: 強350m3/h、弱210m3/h				
		消費電力: 強153W、弱: 84W、ファン0.065kW				
		150φ防虫網付SUS深形パイプフード×2、付属品共				
HF4	全熱交換式換気扇	天井埋込カセット形、ワイヤードリモコン (空調連動運転)	1φ200V	4	2階相談室1~4	VAC150GF (ダイキン) 相当品
		処理風量: 強150m3/h、弱100m3/h				
		消費電力: 強58W、弱: 37W、ファン0.025kW				
		100φ逆流防止ダンパー×2、150φ防虫網付SUS深形パイプフード(合流)、付属品共				
HF5	全熱交換式換気扇	天井埋込カセット形、ワイヤードリモコン (空調連動運転)	1φ100V	1	1階受付事務室	VAC150GF (ダイキン) 相当品
		処理風量: 強150m3/h、弱100m3/h				
		消費電力: 強58W、弱: 37W、ファン0.025kW				
		100φ防虫網付SUS深形パイプフード×2、付属品共				
EF1	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	1	1階ロッカー室	VD-23ZB13 (三菱電機) 相当品
		羽根径230φ、風量: 強570m3/h、弱330m3/h				
		消費電力: 強82W、弱: 38W				
		150φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
EF2	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	2	1階東側トイレ 1階多目的便所	VD-20ZB14 (三菱電機) 相当品
		羽根径200φ、風量210m3/h				
		消費電力49W				
		150φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
EF3	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	4	2階・3階東側トイレ	VD-18ZB14 (三菱電機) 相当品
		羽根径180φ、風量190m3/h				
		消費電力29.5W				
		150φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
EF4	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	4	2階・3階多目的便所	VD-15ZP14 (三菱電機) 相当品
		羽根径150φ、風量150m3/h				
		消費電力23W				
		100φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
EF5	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、3室換気、格子グリル、副吸込格子グリル×2	1φ100V	1	1階東側授乳室	VD-18ZB14 (三菱電機) 相当品
		羽根径180φ、風量180m3/h				
		消費電力29.5W				
		100φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
EF6	ダクト用換気扇	低騒音形、中間取付形、副吸込口格子グリル×3	1φ100V	6	1~3階西側トイレ	V-20ZM5 (三菱電機) 相当品
		羽根径200φ、風量: 強350m3/h、180m3/h				
		消費電力: 強58W、弱: 32W				
		150φ防虫網付SUS深形パイプフード、付属品共				
注 記 ・全熱交換式換気扇のリモコンスイッチ数量は自動制御設備図、傍記による。 ・						

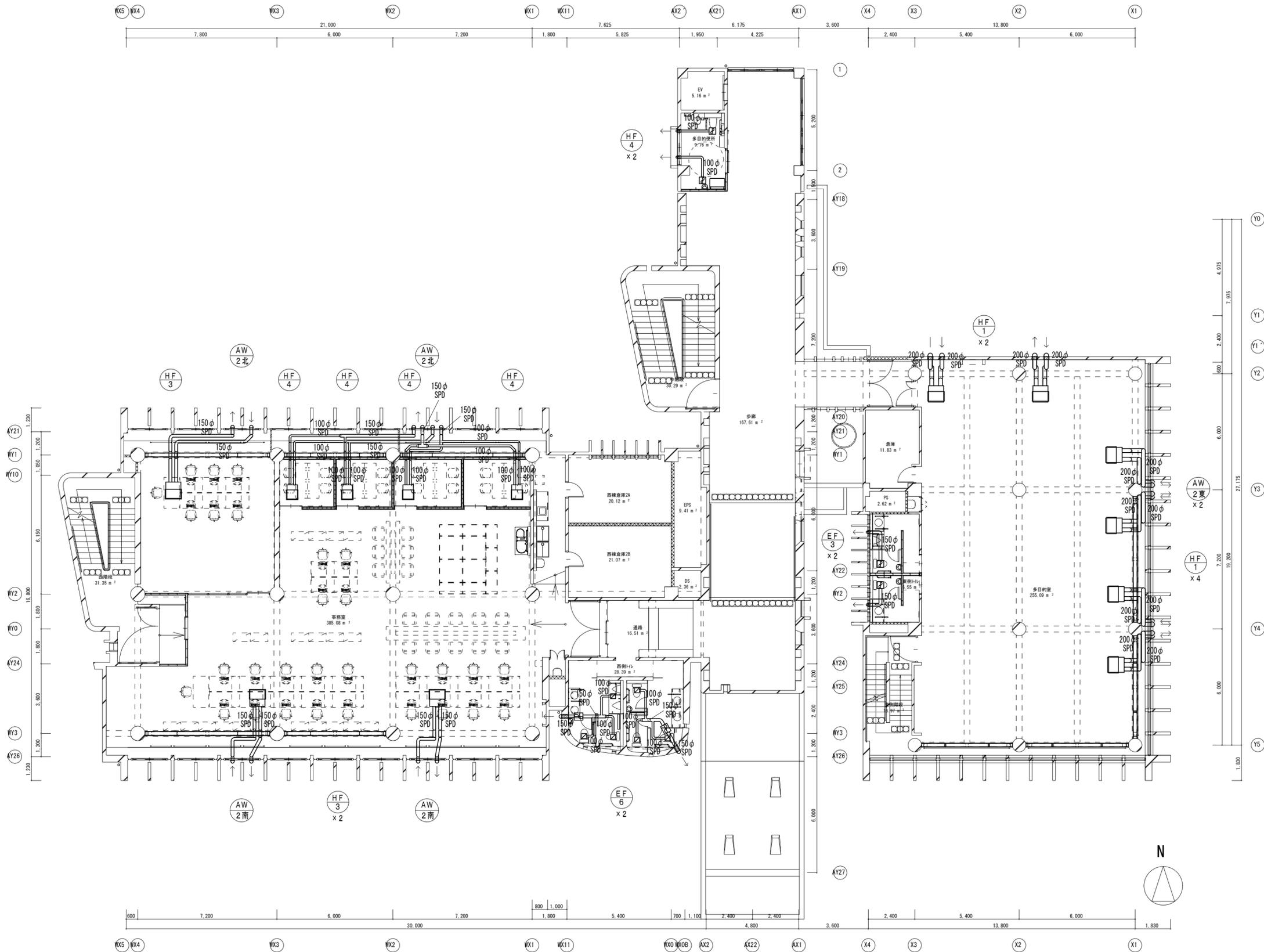
換気機器表 (改修前) 撤去						
記号	名称	機器仕様、付属品	電気	台数	設置場所	備考
HEU1	全熱交換器	屋外ユニット形、効率65%、アルミハニカム、アスベストローター	3φ200V	1	塔屋機械置場	接続ダクト撤去
		処理風量: 給気6000m3/h、排気5000m3/h				
		不織布フィルター (500×500×20t): 給気×6枚、排気×6枚				
		交換器0.1kW、送風機: 給気3.7kW、排気3.7kW、付属品共				
RF1	屋上換気扇	低騒音形 丸形フード付ルーフファン	3φ200V	1	東側屋上	
		羽根径300φ、風量26m3/min				
		据付枠、コーナリブ、付属品共				
RF2	屋上換気扇	低騒音形 丸形フード付ルーフファン	3φ200V	2	東側屋上	
		羽根径400φ、風量60m3/min				
		据付枠、コーナリブ、付属品共				
F1	壁付換気扇	低騒音形、格子グリル付、電気シャッター付	1φ100V	1	3階会議室	
		羽根径200φ、風量585m3/h				
		窓パネル取付アタッチメント、防虫網付SUSウェザーカバー、付属品共				
F2	窓用換気扇	低騒音形、格子グリル付、電気シャッター付	1φ100V	11	1階事務室×4 2階軽運動室×2 3階集会室×4 3階講習室	
		羽根径250φ、風量: 強540m3/h、弱285m3/h				
		窓パネル取付アタッチメント、防虫網付SUSウェザーカバー、付属品共				
F3	壁付換気扇	低騒音形、格子グリル付	1φ100V	2	3階東側トイレ	
		羽根径200φ、風量875m3/h				
		防虫網付SUSウェザーカバー、付属品共				
F4	パイプ用換気扇	低騒音形、格子グリル付	1φ100V	6	1~3階西側トイレ	
		羽根径200φ、風量300m3/h				
		200φSUS薄形パイプフード、付属品共				
F5	ダクト用換気扇 (残置)	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	1	1階洗濯給湯室	
		羽根径150φ、風量110m3/h				
		100φSUS深形パイプフード、付属品共				
F6	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	4	1・2階東側トイレ	
		羽根径200φ、風量384m3/h				
		150φSUS丸形パイプフード、付属品共				
F7	ダクト用換気扇	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	5	1~3階多目的便所	
		羽根径130φ、風量 m3/h				
		100φSUS深形パイプフード、付属品共				
F8	ダクト用換気扇 (残置)	低騒音形、天井埋込形、格子グリル	1φ100V	1	3階給湯室	
		羽根径200φ、風量 m3/h				
		200φ丸形トップフード、付属品共				
SF1	給気用送風機	片吸込シロッコファン、天井吊	3φ200V	1	地階機械室	
		#1 1/2×風量900m3/h×196Pa×0.2kW				
		たわみ継手、付属品共				
EF1	排気用送風機	片吸込シロッコファン、天井吊	3φ200V	1	地階機械室	
		#1 1/2×風量900m3/h×196Pa×0.2kW				
		たわみ継手、付属品共				
注 記 ・配管類、ダクト類の解体前に大気汚染防止法に基づきアスベスト等の特定建築材に該当するものを調査し、対象物があった場合は、監督員の指示に従い適切に処理を行うこと。 ・						



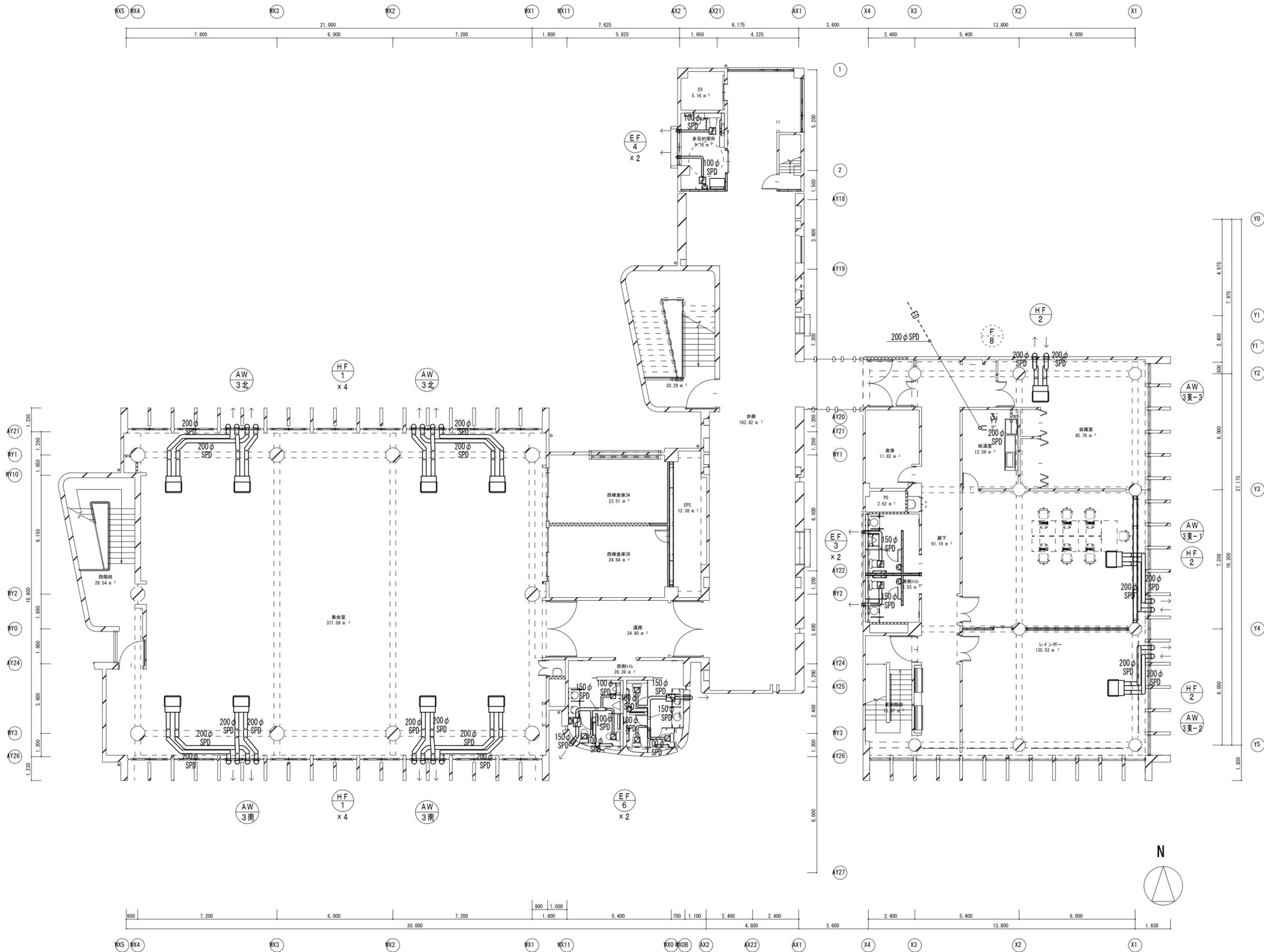
1階換気設備図(改修後) 1:150



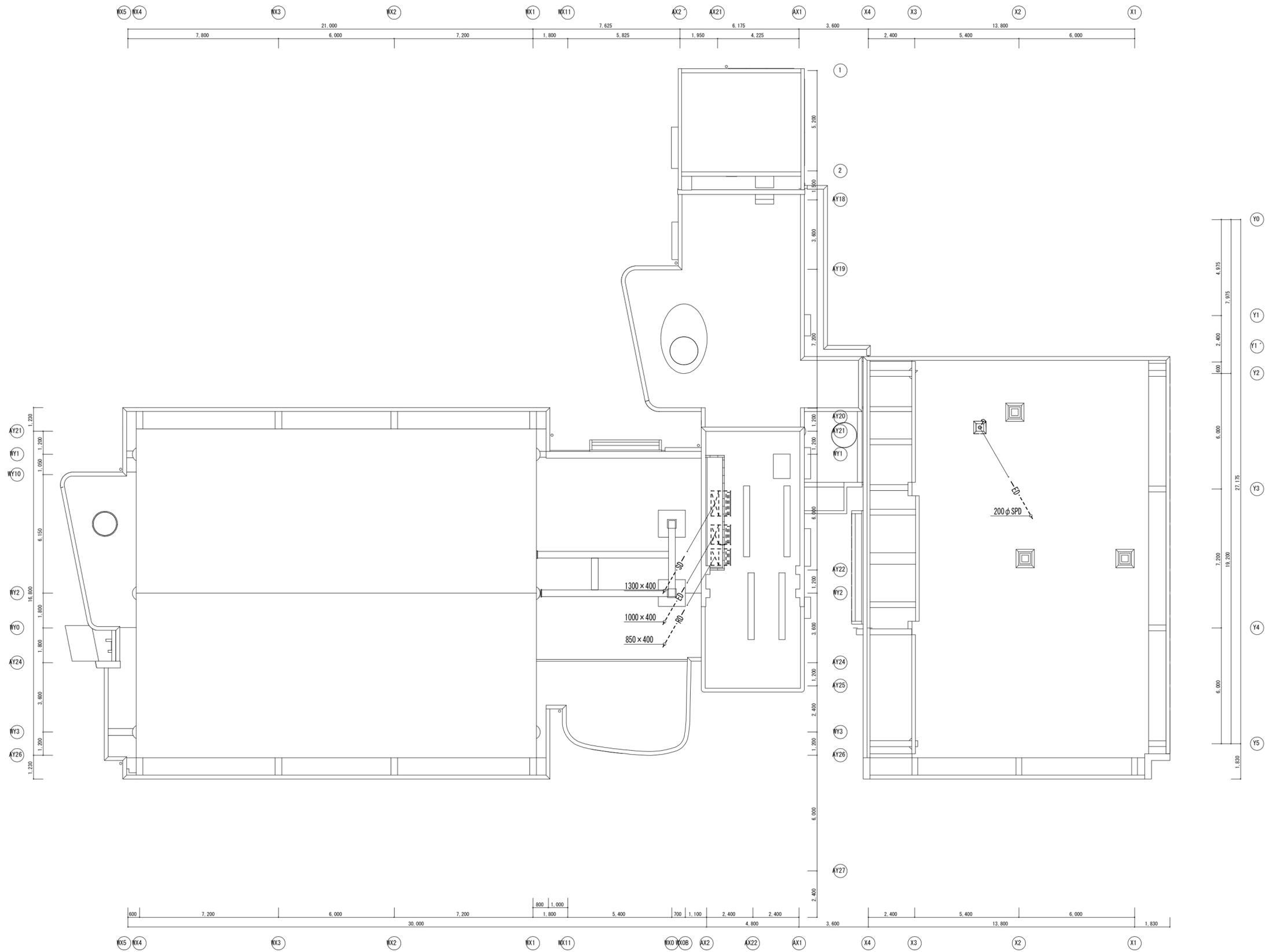
地階空調設備図(改修後) 1:150



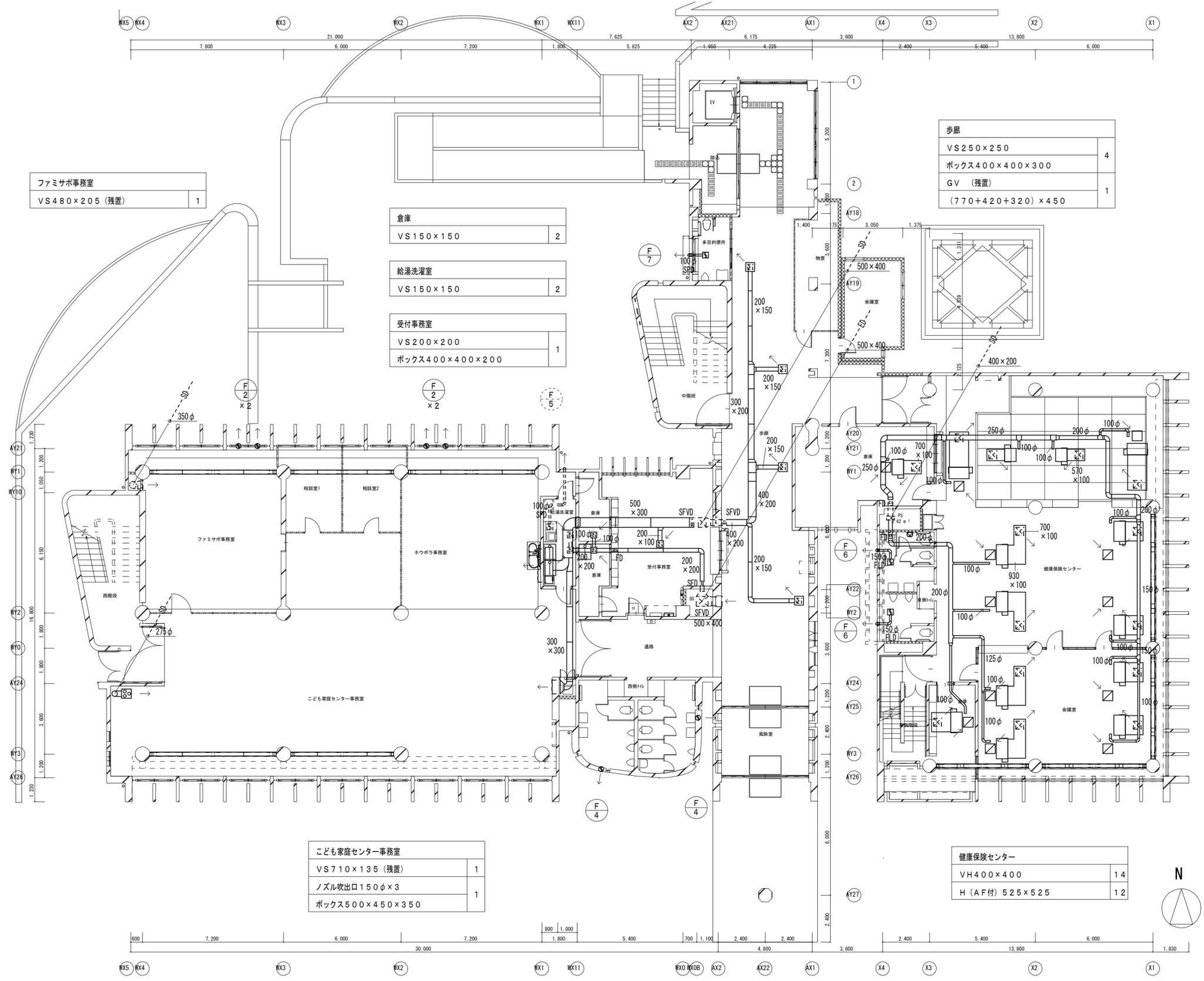
2階換気設備図 (改修後) 1:150



3階換気設備図 (改修後) 1:150



R階換気設備図(改修後) 1:150



ファミサポ事務室	
VS 480 × 205 (残置)	1

倉庫	
VS 150 × 150	2

給湯洗濯室	
VS 150 × 150	2

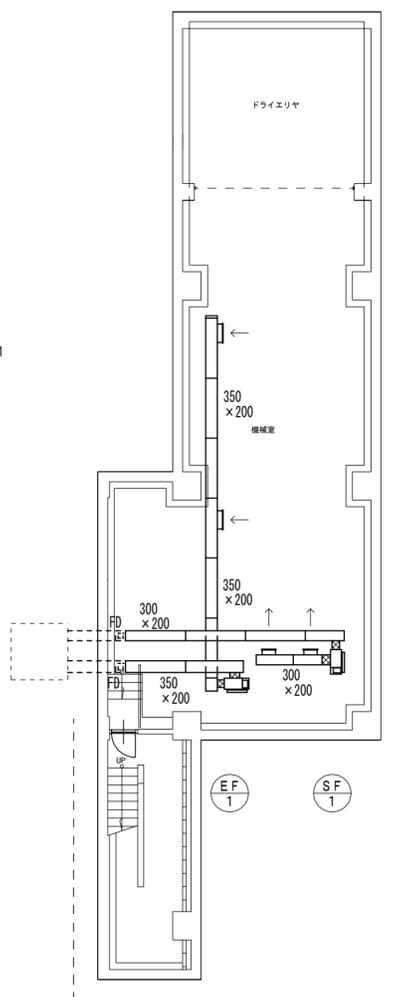
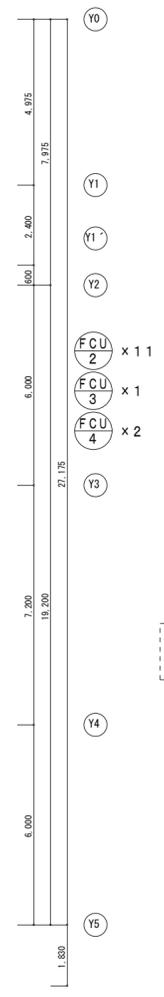
受付事務室	
VS 200 × 200	1
ボックス 400 × 400 × 200	

歩廊	
VS 250 × 250	4
ボックス 400 × 400 × 300	
GV (残置)	1
(770 + 420 + 320) × 450	

機械室	
VHS 550 × 150	2
VS 400 × 150	2

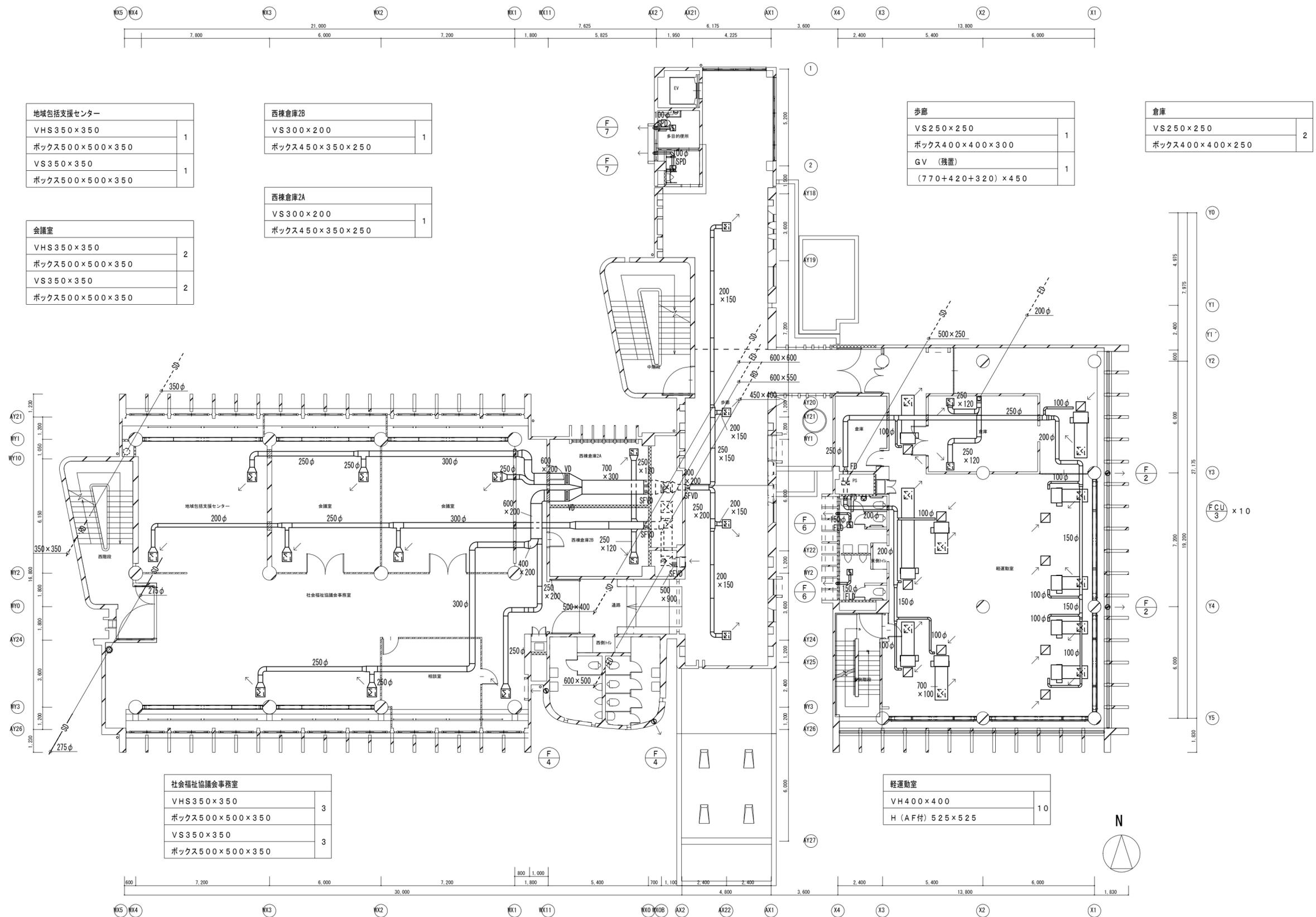
こども家庭センター事務室	
VS 710 × 135 (残置)	1
ノズル吹出口 150φ × 3	1
ボックス 500 × 450 × 350	

健康保険センター	
VH 400 × 400	1.4
H (AF付) 525 × 525	1.2



1階換気設備図(改修前) 1:150

地階換気設備図(改修前) 1:150



地域包括支援センター	
VHS350×350	1
ボックス500×500×350	1
VS350×350	1
ボックス500×500×350	1

西棟倉庫2B	
VS300×200	1
ボックス450×350×250	1

歩廊	
VS250×250	1
ボックス400×400×300	1
GV (残置) (770+420+320)×450	1

倉庫	
VS250×250	2
ボックス400×400×250	2

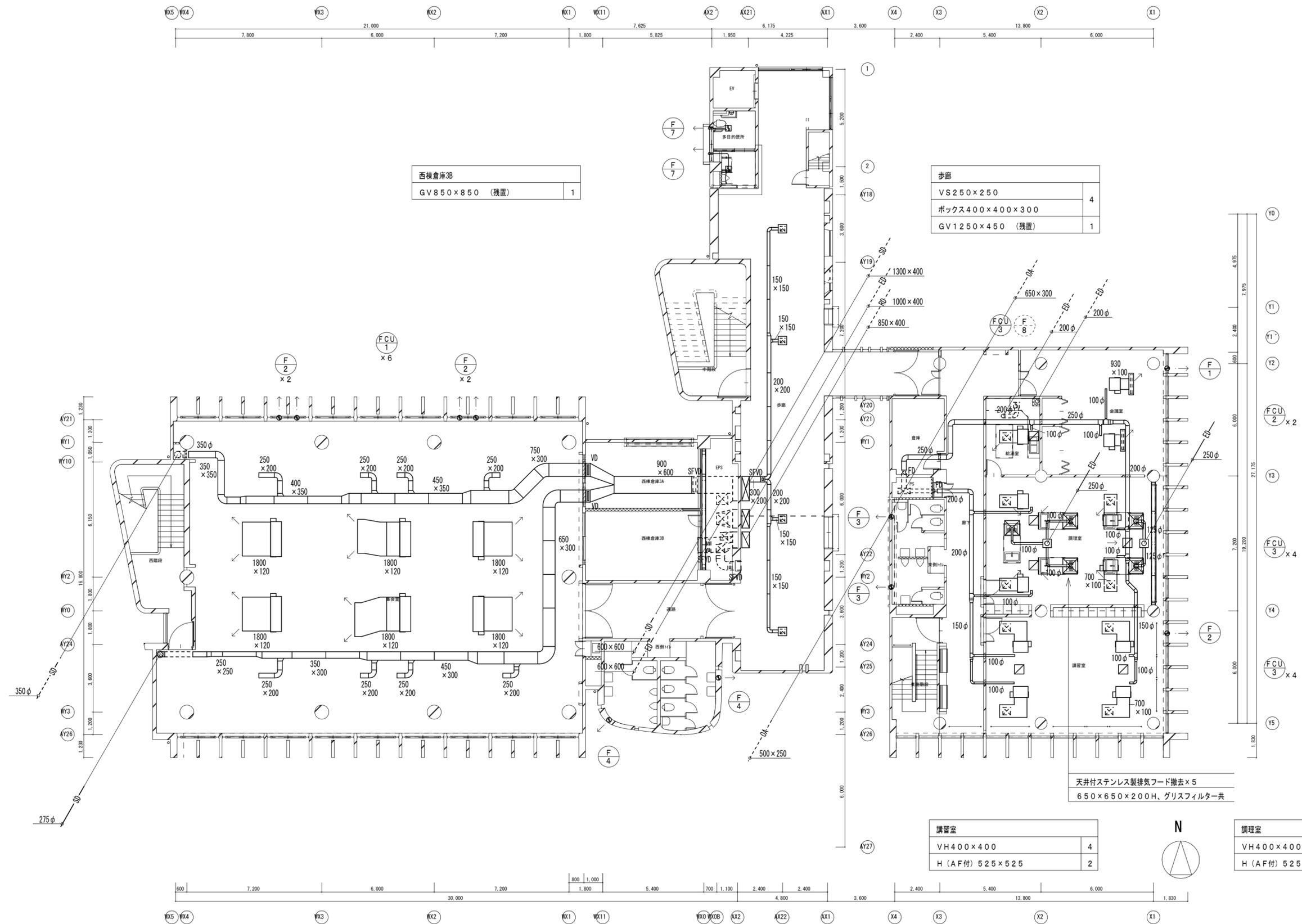
会議室	
VHS350×350	2
ボックス500×500×350	2
VS350×350	2
ボックス500×500×350	2

西棟倉庫2A	
VS300×200	1
ボックス450×350×250	1

社会福祉協議会事務室	
VHS350×350	3
ボックス500×500×350	3
VS350×350	3
ボックス500×500×350	3

軽運動室	
VH400×400	10
H (AF付) 525×525	10

2階換気設備図(改修前) 1:150



西棟倉庫3B	
GV 850 x 850 (残置)	1

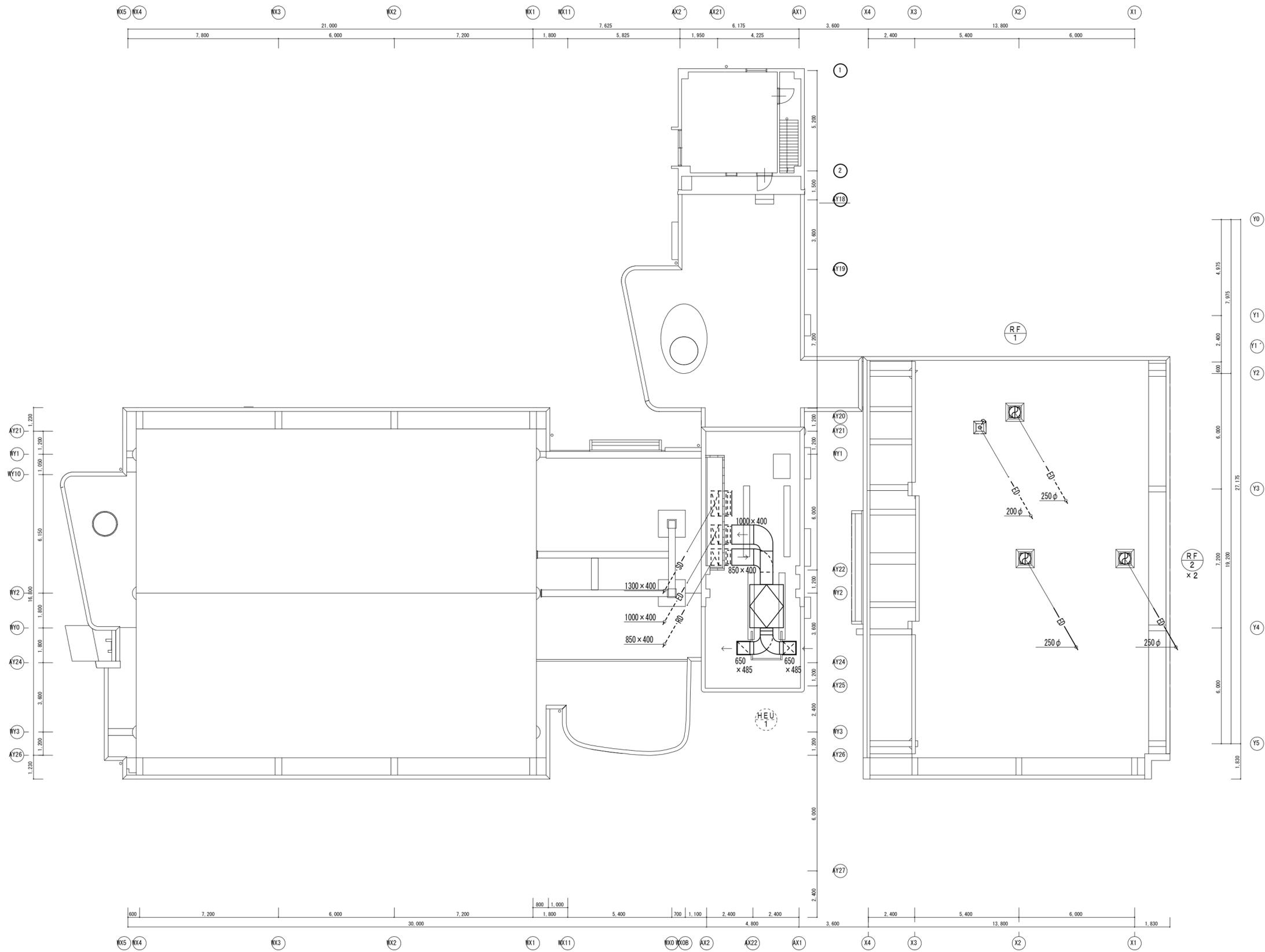
歩廊	
VS 250 x 250	4
ボックス 400 x 400 x 300	
GV 1250 x 450 (残置)	1

講習室	
VH 400 x 400	4
H (AF付) 525 x 525	2

調理室	
VH 400 x 400	4
H (AF付) 525 x 525	3

天井付ステンレス製排気フード撤去 x 5
650 x 650 x 200H、グラスフィルター共

3階換気設備図(改修前) 1:150



R階換気設備図(改修前) 1:150

建具改修、換気口取付要領							
記号	AW 1南	AW 1北	AW 2南	AW 2北	AW 3南	AW 3北	
図							
型式	引違い窓+可動式ガラリ	引違い窓+F I X窓	引違い窓+回転+F I X窓	引違い窓+回転+F I X窓	可動式ガラリ+F I X窓	引違い窓+F I X窓	
材質(見込)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	
室名(数量)	1階屋内遊び場(動) (2)	1階屋内遊び場(動) (2)	2階事務室 (2)	2階事務室、相談室 (2)	3階集会室 (2)	3階集会室 (2)	
ガラス	可動式ガラリ現状維持 引違い窓網入り板ガラス撤去、アルミパネル5mm新設×2	引違い窓現状維持 F I X窓アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設×2	引違い窓現状維持 F I X窓アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設×2	引違い窓現状維持 F I X窓アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設×2	可動式ガラリ現状維持 F I X窓透明強化ガラス撤去、アルミパネル5mm新設×2	引違い窓現状維持 F I X窓アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設×2	
シーリング改修 付属金物	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	
備考	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2×2	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×4	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2×2	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2×2	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2×2	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2×2	
記号	AW 1東		AW 2東		AW 3東-1	AW 3東-2	AW 3東-3
図							
型式	引違い窓+F I X窓		F I X窓+引違い窓+F I X窓		F I X窓+引違い窓+F I X窓	F I X窓+引違い窓+F I X窓	F I X窓+引違い窓+F I X窓
材質(見込)	アルミ(シルバー)		アルミ(シルバー)		アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)	アルミ(シルバー)
室名(数量)	1階屋内遊び場(静) (4)		2階多目的室 (2)		3階レインボー(事務室)	3階レインボー(遊び場)	3階会議室
ガラス	F I X窓現状維持、引違い窓片側透明強化ガラス現状維持 引違い窓片側アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設		引違い窓、F I X窓下側現状維持 F I X窓上側アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設		引違い窓、F I X窓下側現状維持 F I X窓上側網入り板ガラス撤去、アルミパネル5mm新設	引違い窓、F I X窓下側現状維持 F I X窓上側アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設	引違い窓、F I X窓下側現状維持 F I X窓上側アルミパネル撤去、アルミパネル5mm新設
シーリング改修 付属金物	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)		建具廻り4周シーリング改修(建築工事)		建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)	建具廻り4周シーリング改修(建築工事)
備考	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2 (上排気、下給気、上下芯≒500mm)		アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×4 (上排気×2、下給気×2、相互芯≒500mm)		アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2	アルミパネル部分に換気口穴あけ200φ×2	(アルミパネル部分に冷媒管穴あけ)

天井点検口設置要領																	
階	用途	数	開口寸法	摘要	場所	階	記号	数	開口寸法	摘要	場所	階	記号	数	開口寸法	摘要	場所
1	換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	西側トイレ	2	換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	西側トイレ	3	換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	西側トイレ
	換気扇用	1	450×450	天井解体、開口部補強	東側トイレ		換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	東側トイレ		換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	東側トイレ
	換気扇用	1	450×450	天井解体、開口部補強	多目的便所		換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	多目的便所		換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	多目的便所
	空調機、換気扇兼用	1	450×450	天井解体、開口部補強	ロッカー室		空調機用、熱交換気扇兼用	10	450×450	天井解体、開口部補強	事務室		空調機用、熱交換気扇兼用	12	450×450	天井解体、開口部補強	集会室
	空調機用、熱交換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	受付事務室		空調機用、熱交換気扇兼用	4	450×450	天井解体、開口部補強	相談室		空調機用、熱交換気扇兼用	6	450×450	天井解体、開口部補強	レインボー
	空調機、換気扇兼用	1	450×450	天井解体、開口部補強	授乳室		空調機用	2	450×450	天井解体、開口部補強	歩廊		空調機用、熱交換気扇用	2	450×450	天井解体、開口部補強	会議室
													空調機用	3	450×450	天井解体、開口部補強	歩廊